

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

# 目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	17
3	教育行政基本方針・基本施策	20
	《「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》	20
	基本施策1 (重点) 自立した子どもの育成	20
	(1) 自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実	20
	(2) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実	21
	基本施策2 共生の心の育成	25
	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実	25
	(2) 健康教育の充実と食育の推進	27
	(3) 学校体育、スポーツ活動の充実	29
	基本施策3 (重点) 郷土愛の育成	30
	基本施策4 (重点) 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施	31
	基本施策5 学校施設等の整備	33
	《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》	35
	基本施策6 (重点) 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供	35
	基本施策7 生涯学習によるまちづくり	39
	基本施策8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援	40
	基本施策9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援	42
	《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》	44
	基本施策10 文化財の保護・活用	44
	基本施策11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実	46
	基本施策12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成	48
	基本施策13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営	51
	《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》	54
	基本施策14 生涯スポーツの推進	54
	基本施策15 (重点) 競技スポーツの推進	55
	基本施策16 スポーツ施設の整備・充実と活用	57
III	評価委員の総合評価	58
IV	資料	65

# I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

## 1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

## 2 点検・評価の対象及び方法等

### (1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第7次笠岡市総合計画（後期基本計画 令和4～令和7年度）に掲げた「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツの振興」及び「歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育振興基本計画」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

### (2) 方法

令和4年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

#### ① 基本施策

管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載

#### ② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

#### ③ 施策を推進する主な事業 重点事業・事務事業

基本施策における主要事業等の目的、令和4年度の主な実績及び今後の方向性、決算額を記載

#### ④ 評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

A：予定どおり目標が達成された。

B：概ね達成された。

C：やや目標に達成できなかった。

D：達成できなかった。努力を要する。

#### ⑤ 課題と方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

丹 生 裕 一	就実大学教育学部教授
三 谷 信 恵	元笠岡市教育委員
小 寺 稔	元笠岡市立小学校長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

### 1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営  
教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動  
総合教育会議への出席
- (3) 教育委員の研修等  
研修会，その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援  
教育委員による学校・教育施設訪問  
教育委員と教職員の懇談会  
教育委員による学校給食訪問

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針  
令和4年度「笠岡市教育行政実施計画」を策定
- (2) 規則等の改廃  
規則，要綱，規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案  
条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算  
教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止  
設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関すること  
教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関すること  
教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱  
諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除  
市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成  
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会へ報告，公表

### 3 教育行政施策体系

基本理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策
学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力	学校教育の 充実	「学び」「育ち」をつ なぎ自立して共に生 きる子どもを育てる 学校教育の推進	1 自立した子どもの育成
			2 共生の心の育成
			3 郷土愛の育成
			4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施
			5 学校施設等の整備
	生涯学習の 推進	市民一人ひとりの豊 かな学びにより地域 力を高める生涯学習 の推進	6 いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができ る機会の提供
			7 学習成果を活かしたまちづくり
			8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支 援
	歴史の承 継・文化の 振興・カブ トガニの保 護と活用	幅広い世代が楽しめ る文化・芸術の振興 と担い手の育成	9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援
			10 文化財の保護・活用
			11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実
			12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成
	スポーツの 振興	いつでも、どこでも、 誰でも気軽に親しめ る生涯スポーツの振 興	13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営
			14 生涯スポーツの推進
			15 競技スポーツの推進
			16 スポーツ施設の整備・充実と活用

## 1 教育委員会の運営状況

教育長

(R5. 3. 31 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	岡田達也	H29. 8. 1	R 3. 4. 1~R 6. 3. 31

教育委員

(R5. 3. 31 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長職務代理者	石井啓弼	H27. 12. 11	R 1. 12. 11~R 5. 12. 10
委員	藤谷幸弘	H28. 12. 17	R 2. 12. 17~R 6. 12. 16
委員	山下敬広	H29. 10. 4	R 3. 10. 4~R 7. 10. 3
委員	東山琴子	R 2. 10. 1	R 2. 10. 1~R 6. 9. 30

### (1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回(前年12回)

教育委員会臨時会 1回(前年5回)

月日	定例会又は臨時会	議案	報告	協議報告・その他
4月22日	定例会	2		11
5月20日	定例会	4	2	7
6月24日	定例会	4		7
7月15日	定例会	1	2	15
8月19日	定例会	4	1	10
9月30日	定例会	1	1	11
10月21日	定例会		1	11
11月18日	定例会	1		9
12月16日	定例会	1	1	12
1月20日	定例会	2		10
2月17日	定例会	2	1	11
3月10日	臨時会	3		
3月17日	定例会	4		8
計	13回	29	9	122

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて1回開催し、計13回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月22日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について ② 笠岡市スポーツ推進委員の委嘱について
5月20日	① 学校運営協議会委員の委嘱又は任命について ② 笠岡市社会教育委員の委嘱について ③ 公民館運営審議会委員の委嘱について ④ 笠岡市文化財保護委員の委嘱について ⑤ 笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ⑥ 笠岡市立カブトガニ博物館運営委員の委嘱について
6月24日	① 笠岡市社会教育委員の委嘱について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ④ 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について
7月15日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について ② 教育長が専決処分した笠岡市地域学校協働活動推進員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
8月19日	① 笠岡市総合教育相談支援センター事業実施要綱の一部を改正する要綱について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について ③ スポーツ推進委員の委嘱について ④ 教育長の兼業について ⑤ 教育長が専決処分した笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について
9月30日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について ② 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
10月21日	① 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について
11月18日	① 笠岡市立学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱の制定について
12月16日	① 令和4年度末校長・教員等人事異動内申方針（案）について ② 教育長の専決処分した感謝状の贈呈について

1月20日	① 笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について ② 笠岡市社会教育委員の委嘱について
2月17日	① 公民館運営審議会委員の委嘱について ② 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について
3月10日	① 小・中学校長等の人事異動の内申について ② 幼稚園長等の人事異動について ③ 感謝状の贈呈について
3月17日	① 笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について ② 笠岡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について ③ 感謝状の贈呈について ④ 公民館長の任命及び公民館運営審議会委員の委嘱について

## ② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協 議 報 告 事 項
4月22日	① 第3期笠岡市教育振興基本計画について ② 令和4年度校長・教頭・養護・事務一覧について ③ 令和4年度幼小中在籍数について ④ 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ⑤ 笠岡市文化連盟創立60周年記念事業等について ⑥ 第2次笠岡市子ども読書活動推進計画の策定について ⑦ 笠岡市立図書館の行事等について ⑧ 笠岡市立竹喬美術館の行事等について ⑨ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事等について ⑩ 平成4年度笠岡市民大学教養講座の開催について ⑪ 成人式について
5月20日	① 小中一貫教育推進計画並びに学校規模適正化計画について ② 第18回笠岡市笠岡市木山捷平文学選奨の作品募集について ③ 令和3年度笠岡市成人式の開催結果について ④ 笠岡東公民館倉庫の解体工事について ⑤ 笠岡市立カブトガニ博物館の行事等について ⑥ 令和4年度教育行政実施計画について ⑦ 竹喬美術館の「開館40周年記念 栖鳳と京都の日本画」について
6月24日	① 令和4年度一般会計6月補正予算（教育関係）について

6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 令和4年6月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>③ 小中一貫教育推進計画及び学校規模適正化計画について</li> <li>④ 新型コロナウイルス感染症における学級閉鎖期間の見直しについて</li> <li>⑤ 宝くじスポーツフェア ドリームベースボールについて</li> <li>⑥ 四国アイランドリーグ plus 公式戦 高知ファイティングドッグス vs 福岡ソフトバンクホークス3軍について</li> <li>⑦ 生涯学習諸学級の実績報告等について</li> </ul>
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>② 離島留学について</li> <li>③ 部活動の地域移行について</li> <li>④ 貫閲講堂について（経過報告）</li> <li>⑤ 「マンガふるさとの偉人 茅原基治」の活用について</li> <li>⑥ 笠岡市制施行70周年記念事業 「知」を未来につなぐ施設連携事業「クイズ&amp;スタンプラリー」「3館共通入館券」について</li> <li>⑦ 笠岡へもっと愛着を持ち隊について</li> <li>⑧ 笠岡市立図書館の各種事業等について</li> <li>⑨ 笠岡市立竹喬美術館の各種事業等について</li> <li>⑩ 笠岡市立カブトガニ博物館の各種事業等について</li> <li>⑪ 笠岡市制施行70周年記念・笠岡市文化連盟創立60周年記念 「笠岡あいうえおかるた」読み句募集について</li> <li>⑫ 市内小中学生登下校の緊急重点見守り活動（7月5日）について</li> <li>⑬ 令和4年度の教育便覧について</li> <li>⑭ カブトガニ博物館の「ジュランピング」について</li> <li>⑮ 笠岡東公民館の体育館の使用中止について</li> </ul>
8月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>② 離島留学について</li> <li>③ 部活動の地域移行について</li> <li>④ 令和4年度の笠岡市成人式について</li> <li>⑤ 貫閲講堂について</li> <li>⑥ 笠岡市立図書館の事業等について ・講座「平和を考える」の開催及び平和関係の取組について</li> <li>⑦ 笠岡市立竹喬美術館の事業等について ・特別陳列「開館40周年 移ろふ自然 小野竹喬」の開催について</li> <li>⑧ 令和8年度以降の笠岡市小中学校のプール使用について（案）</li> <li>⑨ 令和4年度の笠岡市教育便覧について</li> </ul>

8月19日	⑩ 令和4年度の学校等教育施設の訪問について
9月30日	① 令和4年9月笠岡市議会定例会質問・回答について ② 令和4年度一般会計9月補正予算（教育関係）について ③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について ④ 部活動の地域移行について ⑤ 令和8年度以降の水泳授業・プールの使用について ⑥ 学力・学習状況調査について ⑦ 笠岡市立図書館の読書週間の行事等について ⑧ 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の点検・評価報告書（案）について ⑨ 「白石島英語留学事業」について ⑩ 「第17回べいふぁーむ駅伝大会」について ⑪ 「令和4年度 笠岡市立図書館要覧」について
10月21日	① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について ② 令和4年度笠岡市小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催について ③ 令和8年度以降の水泳授業・プールの使用について ④ 第17回笠岡市青少年スピーチコンテストについて ⑤ 第45回笠岡市青少年健全育成推進大会について ⑥ 笠岡市制施行70周年記念事業「カメラが捉えた笠岡市70年のあゆみ」について ⑦ 第69回笠岡市文化祭・第45回笠岡市芸能祭・第47回笠岡市菊花展について ⑧ 森田思軒顕彰講演会について ⑨ 竹喬祭及び笠岡高校「小野竹喬広め隊！」モザイクアートお披露目会の開催について ⑩ 市民会館のホール棟の改修工事について ⑪ 令和4年度の学校等教育施設の訪問について
11月18日	① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について ② 令和3年度笠岡市小中学校におけるいじめ及び長欠・不登校の状況について ③ 笠岡市小・中学校「いきいきオープンスクール」の実施状況について ④ 「風流踊」のユネスコ無形文化遺産登録について ⑤ 第18回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について ⑥ 笠岡市立図書館への国際ソロプチミスト笠岡からの寄附について ⑦ スポーツ推進課イベントのお知らせについて

11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 生涯学習課のイベントのお知らせについて</li> <li>⑨ 来年度の給食費について</li> </ul>
12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年12月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>② 令和4年度一般会計12月補正予算（教育関係）について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>④ ユネスコ無形文化遺産「風流踊」について</li> <li>⑤ 令和4年度笠岡市成人式の開催について</li> <li>⑥ 笠岡市立図書館でのマイナンバーカードの対応について</li> <li>⑦ 笠岡市立竹喬美術館及び笠岡市立カブトガニ博物館のキャッシュレス決済サービス（多機能決済端末 <i>ster</i>a）の運用について</li> <li>⑧ 笠岡市立竹喬美術館特別展「開館40周年記念 洋画の玉手箱 谷コレクション」展の開催について</li> <li>⑨ 笠岡市立カブトガニ博物館シアター講演会の開催について</li> <li>⑩ 令和3年度の点検・評価報告書について</li> <li>⑪ 清水氏庭園の記念物登録について</li> <li>⑫ 図書館のパスファインダーについて</li> </ul>
1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について</li> <li>② 令和4年度卒業式及び令和5年度始業式等の日程について</li> <li>③ 令和5年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込について</li> <li>④ 令和4年度笠岡市成人式の開催結果について</li> <li>⑤ 第34回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催について</li> <li>⑥ 笠岡市立竹喬美術館特別陳列「開館40周年記念 生誕140年 歌を楽しむ清水比庵展」の開催について</li> <li>⑦ 笠岡市立カブトガニ博物館特別陳列「俺たちの標本作り」展の開催について</li> <li>⑧ 離島留学について</li> <li>⑨ 来年度の教育委員会の開催日程（案）について</li> <li>⑩ 笠岡市立郷土館出張展示及び高梁川流域連盟の冊子について</li> </ul>
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和5年度一般会計当初予算（教育関係）について</li> <li>② 学校規模適正化計画及び小中一貫教育について</li> <li>③ 今井小学校閉校式について</li> <li>④ 第34回笠岡市生涯学習フェスティバルの開催結果について</li> <li>⑤ 笠岡市中央公民館修了作品展の開催について</li> <li>⑥ 笠岡市立図書館の開催行事について</li> <li>⑦ 指定寄附について</li> <li>⑧ 木山捷平生家駐車場整備の進捗について</li> </ul>

2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ 岡市文化連盟創立60周年記念・笠岡市制施行70周年記念 笠岡市文化連盟作「笠岡あいうえおカルタ」の配布について</li> <li>⑩ 笠岡市制施行70周年記念事業 企画展「笠岡の70年を振り返る」について</li> <li>⑪ 竹喬美術館特別陳列「生誕140年 歌を楽しむ 清水比庵」について</li> </ul>
3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）について</li> <li>② 令和5年3月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>③ 学校規模適正化計画及び小中一貫教育推進計画について</li> <li>④ 児童・生徒の一人一台端末の効果的な活用について</li> <li>⑤ 令和5年度給食費について</li> <li>⑥ 木山捷平文学選奨短編小説賞選考委員の交代について</li> <li>⑦ 市制施行70周年記念映像制作事業について</li> <li>⑧ ユニバーサルスポーツ関連について</li> </ul>

## (2) 教育委員会の活動

### <市長との意見交換>

総合教育会議において、生徒指導案件、児童・生徒一人一台端末の効果的な活用について市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
12月16日	市長室	生徒指導案件
3月17日	市長室	生徒指導案件、児童・生徒一人一台端末の効果的な活用

### <市議会への出席>

5月臨時会	2日間
6月定例会	6日間
9月定例会	6日間
12月定例会	6日間
1月臨時会	1日間
3月定例会	6日間
総務文教委員会	毎月1回

### (3) 教育委員の研修等

岡山県都市教育委員会教育長協議会定例会，県教育長と市町村教育長との意見交換会等へ参加し，直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月26日	令和4年度教育問題懇談会	オンライン
7月19日	令和4年度7月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび
8月18日	学校運営協議会研修会	笠岡市役所
10月17日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	オンライン
10月26日	令和4年度10月期教育長連絡会議	ピュアリティまきび
11月24日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	備前市役所
11月30日	市町村教育委員会委員研修会	オンライン
1月14日	近隣市町教育長懇談会	矢掛町教育委員会

### ○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月 1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館
4月 4日	ひまわり認定こども園開園式	ひまわり認定こども園
4月 5日	共励会(藤井・坂本音一育英会)	教育委員会会議室
4月 6日	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市民会館
4月21日	校園長会	教育委員会会議室
4月24日	笠岡市制施行70周年記念式典	笠岡市民会館
4月25日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
4月27日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	ギャラクシーホール
4月30日	笠岡市婦人協議会総会	笠岡市中央公民館
5月 2日	くわのみすくすくえん開園式	旧白石幼稚園
5月 4日	令和3年度成人式	笠岡市民会館
5月 8日	虚心忌(小野竹喬命日式典)	竹喬美術館
5月13日	教頭会	教育委員会会議室
5月16日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	府中学園
5月22日	笠岡市スポーツ協会表彰式及び総会	笠岡市民会館
5月25日	県議との意見交換会	笠岡市役所
5月26日	笠岡市内暴力追放推進連合会総会	笠岡警察署
	竹喬美術館協議会	笠岡市民会館
5月28日	笠岡市文化連盟創立60周年記念式典	笠岡市民会館

	カブトガニ保護啓発運動	カブトガニ博物館ほか
5月29日	さつき・新緑展表彰式	笠岡市民会館
5月31日	藤井育英会理事会	教育委員会会議室
	坂本音一育英会理事会	教育委員会会議室
6月1日	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市役所
6月2日	笠岡地区少年婦人防火委員会	笠岡地区消防組合
6月9日	明るい選挙推進協議会常任推進委員会	笠岡市役所
6月10日	校園長会	教育委員会会議室
6月11日	笠岡市戦没者追悼式	笠岡市民会館
6月20日	広域特別補導協議会笠岡支部総会	笠岡市中央公民館
6月22日	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
6月24日	カブトガニ博物館運営委員会	笠岡市役所
6月28日	学校給食センター運営委員会	学校給食センター
6月29日	笠岡市総合教育相談支援センター運営委員会	総合教育相談支援センター
7月1日	辞令交付式	笠岡市役所
	笠岡市青少年問題協議会	笠岡市役所
7月4日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
7月7日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	笠岡市役所
7月11日	社会を明るくする運動笠岡市推進大会	笠岡市保健センター
7月12日	校園長会	教育委員会会議室
	笠岡地区学校警察連絡協議会総会	笠岡警察署
	子ども・子育て推進会議	サンライフ
7月17日	宝くじスポーツフェア・ドリームベースボール	どんぐり球場
7月21日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	笠岡市役所
7月24日	四国アイランドリーグ公式戦	どんぐり球場
7月25日	社会教育委員会	教育委員会会議室
7月27日	笠岡市交通安全対策協議会総会	笠岡市保健センター
8月4日	医療懇談会	笠岡市保健センター
8月6日	原爆死没者鎮魂式・平和祈念のつどい	笠岡市保健センター
8月9日	笠岡市図書館協議会	笠岡市立図書館
8月14日	笠岡市平和祭	笠岡市保健センター
8月15日	共励会(藤井・坂本音一育英会)及び墓参	教育委員会会議室ほか
8月17日	日本遺産協議会総会	丸亀市

8月18日	校園長会	教育委員会会議室
	韓国固城郡訪問団歓迎式	笠岡市役所
8月19日	韓国固城郡中学生との交流	小北中学校
8月20日	子ども議会	議場
8月22日 8月23日	笠岡市施策評価会議	笠岡市役所
8月24日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市保健センター
8月25日 8月26日	笠岡市施策評価会議	笠岡市役所
8月24日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市保健センター
8月29日	笠岡市PTA連合会・校園長会予算要望	笠岡市役所
9月4日	市制施行70周年記念事業「いっしょにshowやあ走る!跳ぶ!」	笠岡陸上競技場
9月13日	笠岡市政施行70周年記念・笠岡市文化連盟創立60周年記念講演	笠岡市民会館
	笠岡市施策評価答申	市長室
9月17日	手をつなぐ親の会総会	笠岡市民会館
9月23日	秋の交通安全市民運動推進大会	笠岡市民会館
9月26日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	笠岡市役所
9月29日	校園長会	教育委員会会議室
10月3日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会役員会	笠岡市役所
10月4日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
10月6日	岡山県立笠岡高等学校創立120周年記念式典	笠岡高等学校
10月12日	市内県立高等学校長との意見交換会	市長室
10月16日	第17回べいふあーむ駅伝大会	笠岡市陸上競技場
10月24日	校園長会	教育委員会会議室
10月27日	笠岡市福祉施策審議会	笠岡市民会館
10月28日	竹喬美術館協議会	笠岡市民会館
11月1日	市内高等学校(5校)校長との意見交換会	市長室
11月3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡グランドホテル
	笠岡市芸能祭	笠岡市民会館
11月6日	笠岡市防災訓練	笠岡小学校
11月9日	青少年健全育成街頭キャンペーン	笠岡駅前

1 1月12日	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館
1 1月13日	笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館
1 1月15日	校園長会	教育委員会会議室
1 1月16日	笠岡市行政協力委員長・副委員長会議	笠岡市保健センター
1 1月18日	カメラが捉えた笠岡市70周年のあゆみ	笠岡市民会館
1 1月20日	竹喬生誕祭 モザイクアート発表	竹喬美術館
	「心を育てる育児と教育」講演会	笠岡市保健センター
1 1月23日	笠岡市青少年健全育成推進大会	笠岡市保健センター
	笠岡市人権週間の集い	笠岡市民会館
1 1月26日	岡山リベッツ公式戦	笠岡総合体育館
1 1月29日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	教育委員会会議室
1 2月 4日	ユネスコ無形文化遺産登録記念セレモニー	白石島
1 2月16日	校園長会	教育委員会会議室
1 2月18日	第36回カブトガニ駅伝大会	かさおか太陽の広場
1 月 8日	令和4年度成人式	笠岡市民会館
1 月16日	笠岡市人権教育推進委員会	市民活動支援センター
1 月18日	日本遺産シンポジウム in 笠岡	笠岡市保健センター
1 月21日	岡山シーガルズホームゲーム	笠岡総合体育館
1 月26日	校園長会	教育委員会会議室
2 月 4日	P T A 連合会主催「市長と語る会」	笠岡市中央公民館
	第34回笠岡市人権文化祭講演会	吉田小学校
2 月 5日	第26回べいふあーむ笠岡マラソン大会	笠岡市陸上競技場
2 月 7日	笠岡警察署協議会	笠岡警察署
2 月10日	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	笠岡市役所
2 月11日	東京思民の集い	東京都
2 月12日	第34回生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2 月19日	笠岡市美術展表彰式	笠岡市民会館
2 月21日	日本遺産推進協議会総会	オンライン
2 月24日	校園長会	教育委員会会議室
	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市役所
2 月27日	笠岡市要保護児童対策地域協議会代表者会議	笠岡市保健センター

	笠岡市青少年問題協議会	教育委員会会議室
2月28日	笠岡市善行表彰式	市長室
	子ども・子育て推進会議	教育委員会会議室
3月5日	第18回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月12日	フリースクール育海卒業式	飛島
3月15日	藤井育英会理事会	笠岡市中央公民館
	坂本音一育英会理事会	笠岡市中央公民館
	笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	笠岡市役所
3月16日	明るい選挙推進協議会常任推進委員会	笠岡市役所
3月20日	社会教育委員会研修会（兼）地域学校協働活動発表会	笠岡市中央公民館
3月23日	笠岡市福祉施策審議会	笠岡市民会館
	金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会	教育委員会会議室
3月24日	今井小学校閉校式	今井小学校
3月28日	笠岡市民会館運営委員会	笠岡市民会館
3月30日	坂本音一育英会評議員会	笠岡市中央公民館
	笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市中央公民館
3月31日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館

#### (4) 学校及び教育施設への支援

##### ○教育委員による学校・教育施設訪問

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、小学校2校、竹喬美術館を訪問した。  
(前年度 幼稚園，小学校，中学校，教育施設の訪問実績なし)

月 日	学 校 等	教育施設等
11月18日	今井小学校，大島小学校	竹喬美術館

各学校における教育目標，指導の重点を確認し，授業や交流活動，ICTの活用状況，施設整備状況，地域との連携，保幼・小・中学校の連携，小中一貫教育等の実情を視察，現在抱える課題について意見交換した。教育施設についても，事業内容や運営状況，施設整備状況等を視察し，今後の課題について懇談した。また，学校開放の時期等を活用して，随時，児童生徒の活動状況を見たり，授業を参観して課題の把握に努めている。

##### ○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せて行っている学校給食の試食については，教育現場への新型コロナウイルス感染症の感染拡大等を勘案し，訪問先の学校での試食を中止とし，食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター（共同調理場）での試食を実施した。

月 日	学 校 等	調理施設
11月18日	学校給食センター	学校給食センター

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

### (1) 教育行政の運営に関する基本方針

令和4年度に策定した「第3期笠岡市教育振興基本計画」の基本理念である“学ぶ楽しさ，輝く個性，生き抜く力”に基づき，「学び」「育ち」をつなぎ，自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策，「市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進」4施策，「幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成」4施策，「だれでも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興」3施策の各教育行政基本施策を推進した。

### (2) 規則等の改廃

規則，要綱の制定・改正を行った。

- ①笠岡市総合教育相談支援センター事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- ②笠岡市立学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱の制定について
- ③笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について

- ④笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- ⑤笠岡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について

(3) 教育関係予算

教育行政に関する令和5年度当初及び令和4年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校, その他の教育機関の設置又は廃止

今井小学校廃校

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動, 小・中学校長等の人事異動の内申, 幼稚園長等の人事異動, 地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書の採択の決定に関すること

なし

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

公民館運営審議会委員, 学校運営協議会委員, 笠岡市社会教育委員, 笠岡市文化財保護委員, 笠岡市立竹喬美術館協議会委員, 笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員, 笠岡市図書館協議会委員, 笠岡市学校給食センター運営委員会委員, 笠岡市地域学校協働活動推進員, スポーツ推進委員 を委嘱した。

(8) 市重要文化財の指定及び解除

指定及び解除はなかった。

(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

令和3年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し, 報告書の作成を行った。

## 評価

- 学校への施設訪問については、教育現場での新型コロナウイルス感染症の感染状況等を勘察しながら、3年ぶりに実施することができた。令和5年4月より統合する今井小学校と笠岡小学校の交流の様子や授業でのICTの活用状況等を実際に見ることで、現状把握することができた。
- 毎月の定例会や必要に応じて開催される臨時会での報告、学校における新型コロナウイルスの感染状況、学校統合に向けた取組や対応、小中一貫教育の進捗状況、そのほか今日的・緊急的課題について、教育長を含む教育委員全員で、非公式協議や意見交換、メールでの報告等を随時行うなど、教育委員会として、様々な情報を共有することができた。
- 総合教育会議の開催を通して、生徒指導案件、児童・生徒一人一台端末の効果的な活用などについて、情報を共有するとともに、積極的な意見交換を行うことができた。生徒指導案件に関する対応・取組等については、巡回カウンセラーにも出席いただき、専門家の立場からの意見を聞くことができた。また、経緯や現状把握、課題や今後の対応策などを共有することにより、共通認識、共通理解を深めた。

A

## 課題と方向性

- 教育施設への訪問については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながらの実施となった。令和4年度は1回の実施となったが、コロナが5類となったことから、今後は年2～3回の訪問を実施する。
- 毎月の定例会等での議事及び協議・報告については、原則、公開としており、申出により傍聴することができる。令和4年度より議事録をホームページ上で公開しており、市民により開かれた教育委員会を目指す。
- 市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、本市教育の課題、目指す姿等を共有することが、より効果的に教育行政を推進していくことにつながると考えている。引き続き、総合教育会議等、様々な機会を捉えて、今後の課題や方針等を共有し、より一層の連携を図っていく。
- 市内のDX化推進の中、通信環境及び機器類等が整備されたため、希望がある場合には、定例会や総合教育会議等へのオンライン参加にも対応していく。

3 教育行政基本方針・基本施策  
 《「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》

**基本施策 1 (重点) 自立した子どもの育成** (学校教育課)

1- (1) 自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実

**目 標**

落ち着いた学習環境づくりを行うため、就学前教育から義務教育へのつながりを大切にしながら自己肯定感・自己有用感の醸成及び人間関係づくりに努めます。子どもたちが夢や目標をもち、自ら課題を見つけてその解決に主体的に取り組む力を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学習に主体的に取り組む意欲や学んだことを活かそうとする態度の育成を図ります。また、個に応じたきめ細やかな学習方法の工夫・改善により、学ぶ意欲の向上を図ります。子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、友達と切磋琢磨する中で、基礎・基本の定着を図ります。

**施策を推進する主な事業**

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	いきいき交流スクール事業	●小規模校が増加する中で、子どもたちが授業等を通して、多様な考えや多くの人間性に触れる場を意図的、計画的に設定し、一人ひとりの子どもたちの主体的に学ぼうとする心情や豊かな感性の育成を図る ◆参加校：神島外小学校，北木小学校，六島小学校 ▲複数の小規模校が教科の学習等とともにを行うなど授業を通じた学校間・地域間の交流活動を推進する。	72
基本	転入学特別制度	●豊かな自然環境や少人数の中での教育活動を特色とした小・中学校を指定し、その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して、特別に入学又は転入学を認めることにより、特色ある学校生活を送ることができるようにする。 ◆「わくわくシーサイドスクール」活用児童：0名 「神島外小学校転入学特別制度」活用児童：2名 「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：13名 ▲極小規模校のメリットを生かし、その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して、特色ある学校生活を送ることができるようにする。	—

## 1－(2) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

### 目 標

子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、友達と切磋琢磨する中で、基礎・基本の定着を図ります。さらに個に応じたきめ細かな指導やICT機器の活用等の指導方法の工夫、改善により、学ぶ楽しさを実感させ、授業や家庭学習等に主体的に取り組む意欲や態度を育成します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	少人数指導研究事業、非常勤講師等単市加配配置計画	<p>●県の加配を活用して少人数指導を実施したり、単市で非常勤講師を配置して少人数での算数の授業や中学校から小学校への乗り入れ授業を実施したりする。学習内容の積み上げが特に重要な、こうした教科の指導を充実させることで、児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>◆笠岡東中学校、笠岡西中学校及び金浦中学校に英語免許保有者と数学免許保有者6名の常勤講師（県費）を配置した。</p> <p>◆県の加配および単市で、校種間の円滑な接続のため、市内中学校ブロックにおいて、中学校から小学校への乗り入れ授業を確実に実施するための講師を配置した。 配置校 笠岡東中・笠岡西中・金浦中・神島外中 (非常勤講師4名：市費) 大島中（常勤講師1名：県費）</p> <p>▲児童生徒の学習意欲の向上、及び教員の指導力向上を図る。</p>	12,228
重点	小学校理科観察実験アシスタントの配置事業	<p>●主として5、6年の理科の授業に対して外部人材を観察実験アシスタントとして配置することにより、授業における観察、実験活動の充実及び教員の資質向上を図るとともに、小学校における理科教育の充実に資する。</p> <p>◆配置校 笠岡小・金浦小・城見小・大井小 吉田小・北川小・大島小・神内小 支援員2人</p> <p>▲専門的な支援・アドバイスにより、児童の理解面、技能面での向上を図る。</p>	2,791

重点	学習の機会の充実事業	<p>●児童生徒の学習に対する意欲・関心を高め、学習習慣の定着を図るために、放課後、土曜日、夏季休業中に学習の場を提供することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。</p> <p>◆かさおか夏チャレンジ事業 参加人数 118人 実施場所 市内9小学校 かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業 学習会（土曜日） 月1回程度、参加児童 65人 実施場所 市内9小学校 主体的な学びの基盤づくり事業 参加人数 146人 実施場所 市内7小学校 195人 市内3中学校</p> <p>▲継続的に学習を行うことで、児童の学習習慣の定着と学力向上を図る。</p>	1,563
重点	笠岡市中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	<p>●検定に向け自主的・積極的に取り組むことで、学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p> <p>◆英語検定 109名 数学検定 19名 漢字検定 64名</p> <p>▲継続的に取り組むことで、学習意欲及び基礎学力の向上を図る。</p>	762
重点	新学習指導要領に対応した小・中学校 ICT 環境整備事業	<p>●国の『平成30年度以降の学校における ICT 環境の整備方針』に基づき、「学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備」「超高速インターネットの100%整備」「教師の ICT 活用指導力の改善」を行い、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。</p> <p>◆授業支援システム、無線 LAN 環境等の整備 6年間リース</p> <p>▲メディアや情報を有効に活用させながら、児童の情報活用能力の育成を図る。</p>	44,698
重点	ICT 支援員配置事業	<p>●授業等で使用する ICT 機器の活用支援を行う ICT 支援員を市内小中各校に月124時間を定期的に派遣するとともに、状況に応じて教育委員会事務局や各校へ訪問できる人員を配置し、「授業における ICT 支援」「校務における ICT 支援」を行うことで、教員の負担や校務処理を軽減し、児童生徒に向き合う時間を確保する。</p> <p>◆派遣校 小学校 15校 中学校 8校(小北中含む)</p>	52,800

		<p>学校 ICT 支援員 10 人</p> <p>▲機器の設定や細かな操作方法等，教職員への支援から，生徒への技術指導や ICT 機器を用いた授業のサポートなど，各校の要望に応じて，臨機応変に支援することで授業内容の充実を図る。</p>	
重点	デジタル教材活用事業	<p>●児童の「基礎的・基本的な知識・技能の習得」等のために有用なフラッシュ型教材，クラウド上のドリル教材等を活用し，わかりやすい授業を展開したり，家庭学習を充実させたりすることで児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>◆より効果的な活用を図るために，ICT 支援員などによる活用促進を図った。</p> <p>▲教員が工夫しながら活用することで，児童に分かりやすい授業を展開することができ，学力向上に寄与する。</p>	2, 281
重点	外国語指導助手配置事業	<p>●児童生徒の外国語に対する関心を高め，国際理解等に係る認識を醸成することを目的に，生きた英語に触れる機会を確保することで，コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>◆外国語指導助手（ALT）を 9 名配置した。</p> <p>配置校 小学校 15 校 中学校 8 校（小北中含む）</p> <p>▲英語の授業において，担任を補佐し，生きた英語を子どもたちに伝えることで，生徒の意欲関心の向上につなげる。</p>	46, 530
重点	AI 教材整備事業	<p>●G I G A スクール構想で整備した学習者用端末を効果的に活用できる AI 教材を全児童生徒に導入し，その蓄積されたデータ等を適切に活用することで，個に応じた学習支援につなげる。</p> <p>◆ドリル教材及び授業支援アプリの導入。</p> <p>小・中学校各 2 校において学力調査を実施し，有効的な活用と効果について検証した。</p> <p>▲学習意欲向上と基礎学力定着を図った。また，個に応じた指導を行うことで学びに向かう力の育成を支援し全体の学力向上を図った。</p>	6, 265
基本	若手教員研修会事業（学びウィーク）	<p>●学校教育充実アドバイザーのこれまでの経験や取り組みを聞いたり，授業づくりの演習等から授業の改善点，学習集団づくりの留意点について考えたりすることを通して，自身の教師力向上を図る。</p> <p>◆授業公開</p> <p>6 月 30 日（木） 生活科</p> <p>7 月 11 日（月） 英語科</p>	—

		▲学校教育充実アドバイザーを活用し、教師力向上を目指す研修を実施する。	
基本	指導者用デジタル教科書整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指導者用デジタル教科書を整備することにより、教員が日常的に工夫しながら活用し、分かりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。</li> <li>◆教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備，活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校全学年（国語・算数）</li> <li>5年生以上（社会・外国語）</li> <li>3年生以上（理科）</li> <li>中学校全学年（国語・数学・理科・社会・英語）</li> </ul> </li> <li>▲教員が有効に活用してわかりやすい授業を行う。</li> </ul>	8,669

### 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒1人1台端末などICT環境やその活用をサポートするICT支援員を配置することで、よりICTの効果的な活用による授業改善の環境を整えている。</li> <li>●外国語指導助手がしっかり役割を担い、英語でのコミュニケーションが充実した授業にするためのマニュアルを作成し、活用した。</li> <li>●学習規律の徹底や家庭学習の手引の作成、基本的な生活習慣の定着等、中学校ブロック内の小中学校が連携して取り組んだ。</li> <li>●AIドリル教材を導入し、児童生徒1人1人が主体的に家庭学習に取り組んだり、授業に生かせるようにしたが、十分な活用や授業改善にはなっていない。基礎・基本の着実な習得や個別の状況に応じた学力向上に課題があり、全国学力・学習状況調査の結果は、小学校が全国や県の正答率に比べ、下回った。</li> </ul>	C
---	---

### 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●1人1人の基礎的な学力を定着させるために、家庭学習や学校で1人1台端末のAIドリルの活用を進め、授業の内容に応じた課題に一齐に取り組んだり、自らの学力に応じた課題に繰り返し取り組んだりして学習を進めながら、担任は1人1人がどこでつまづいているか、また学習への取組の状況を随時把握する。そして特に基礎的な学力や学習の状況に課題のある児童生徒に対して個別にアドバイスや補充学習を行ったりし、全ての児童生徒がそれぞれ力をつけることにより全国学力・学習状況調査を県で1位とする。また授業では児童生徒が主役となり主体的に学べるよう、自分で考え表現する時間を確保し、考えの共有や比較検討ができるようにするなど改善する。</li> <li>●校内や中学校ブロックでの研究を推進し、学力の向上に向けた学校や中学校ブロックの課題を分析・把握し、キャリア教育の視点をもち9年間の学びを見通した取組を行う。</li> <li>●就学前教育と義務教育の円滑な接続を図り、切れ目のない指導・支援を行う体制をつくる。</li> </ul>
---

## 基本施策2 共生の心の育成

(学校教育課)

### 基本施策2－(1) 豊かな人間性を育む教育の充実

#### 目 標

価値観の多様化とともに、社会全体のモラルの低下が見られ、社会性や規範意識、道徳性の低下などが指摘される現状を踏まえ、子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、子どもの豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図ります。特に、人、社会、自然などとのかかわる体験活動の充実や家庭や地域連携を通して、道徳教育の充実に向けた取組を推進します。また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	豊かな心を育む総合推進事業	<p>●学校や幼稚園の創意工夫により総合的な学習時間やクラブ活動、学校行事等を円滑に実施するため、講師を迎えて体験学習を取り入れるなど、特色のある教育活動に取り組む。</p> <p>◆地域の人材活用を進め、連携による社会参加活動や交流に取り組んだ。 体験活動を取り入れながら、幼児児童生徒の情操を育み、心豊かな人格形成を図ることに寄与できた。</p> <p>▲幼稚園及び小、中学校が創意工夫を生かして、多様で広範囲な体験活動を取り入れた特色ある教育活動を円滑に実施する。</p>	1,458
基本	いきいきチャレンジたいけん実施事業	<p>●中学生が地域の事業所において、職場の方々とのふれ合いや活動をとおして、社会人としての責任や苦勞、仕事の大切さやルール等について学び、主体的に自らの生き方や進路を選択していこうとする意欲や態度を育成する。</p> <p>◆令和4年度は中止となり、代替行事として、学校ごとに社会人の講話を聴く会や、職場訪問をしてインタビューを行うなどした。各学校で、コロナ禍でもオンラインを活用するなど、工夫してキャリア教育を行った。</p> <p>▲キャリア教育において、非常に意義のある体験活動を、地域の協力を得ながら、継続していく。</p>	—

基本	笠岡市教育活動支援事業	<p>●支援員を配置することにより、支援を必要とする児童、生徒に適切な学習環境を提供するとともに、教職員が一体となった支援を行うことで教育活動の充実を図る。</p> <p>◆小学校 10 校，中学校 5 校へ 45 人配置した。</p> <p>▲子どもたちの居場所づくり，適切な学習環境づくりのために，ニーズに応じて配置していく。</p>	41,462																
基本	笠岡市総合教育相談支援センター事業	<p>●相談体制を整備することにより，不登校やいじめ等の問題行動の未然防止に努める。</p> <p>◆通室数及び相談・支援件数（小北中含む）</p> <table border="1" data-bbox="584 622 1329 1061"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> <th>令和 4 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通室児童生徒数（含仮通室）</td> <td>6 名 （小 2 ・ 中 4 ）</td> <td>1 1 名 （小 2 ・ 中 9 ）</td> <td>2 2 名 （小 2 ・ 中 2 0 ）</td> </tr> <tr> <td>教育相談業務</td> <td>延べ 673 件</td> <td>延べ 563 件</td> <td>延べ 665 件</td> </tr> <tr> <td>教育支援業務</td> <td>延べ 288 件</td> <td>延べ 507 件</td> <td>延べ 966 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲小中学校とより一層の連携を図り，学校復帰に向けての組織的な対応を継続していく。</p>		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	通室児童生徒数（含仮通室）	6 名 （小 2 ・ 中 4 ）	1 1 名 （小 2 ・ 中 9 ）	2 2 名 （小 2 ・ 中 2 0 ）	教育相談業務	延べ 673 件	延べ 563 件	延べ 665 件	教育支援業務	延べ 288 件	延べ 507 件	延べ 966 件	18,836
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度																
通室児童生徒数（含仮通室）	6 名 （小 2 ・ 中 4 ）	1 1 名 （小 2 ・ 中 9 ）	2 2 名 （小 2 ・ 中 2 0 ）																
教育相談業務	延べ 673 件	延べ 563 件	延べ 665 件																
教育支援業務	延べ 288 件	延べ 507 件	延べ 966 件																
基本	スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの配置事業	<p>●市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し，児童生徒や保護者からの相談に対応したり，家庭環境等の問題に対応したりする。</p> <p>◆スクールカウンセラー 10 名配置 スクールソーシャルワーカー 3 名配置</p> <p>▲市内全小・中学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し，児童生徒や保護者からの相談に対応する。</p>	—																
基本	人権教育自立促進事業	<p>●人権学習を通して正しい知識と理解をもち，様々な人権問題に真摯に向き合える人格の形成を図る。また，教科学習を通して，基礎学力を習得し，自らの力で進路を切り開いていく力を育てる。</p> <p>◆笠岡小 35 回，吉田小 19 回，笠岡西中 32 回，新吉中 15 回，習字教室 27 回</p> <p>▲学校・地域が連携し，子どもたちの健やかな成長を支援していく。</p>	534																

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの間で発生したトラブルを解決できない事案があった。</li> <li>●キャリア教育や地域学で、地域の方をゲストティーチャーとして学校に招いたり、子どもが地域に出て取材したり大人と共に活動したりするなど、全ての学校において地域連携や体験活動を充実させることができた。</li> <li>●個別の児童生徒に寄り添いながら支援する支援員の配置により、落ち着いた学習環境が整った。年度途中の支援員の配置を行い、教育現場の多様な課題に対応することができた。</li> <li>●毎月支援対象者リストに整理したり職員会議や学年会等で共通理解を図ったりすることで、学校全体で児童生徒の状況の把握と対応に取り組めた。</li> <li>●不登校傾向の児童生徒の居場所として、学校からも積極的に家庭に働きかけたことで、総合教育相談支援センターにつなげることができ、通室者数が前年度の11名から22名になり、増えている。SCやSSWとの連携も進み、学校教育課との定期的な協議を行うことで、各学校での児童生徒の実態を相互に把握し、それぞれの立場での支援ができた。</li> </ul>	C
---	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中一貫教育を本格的に実施しながら、中学校ブロック9年間の地域学や交流活動を、地域・保護者の方の協力を仰ぎながらさらに充実させる。</li> <li>●いじめは見逃しゼロを目標に、学校・学級や児童生徒の実態を把握し、適切で機を逃さない対応をするとともに、臨機応変な人的配置やカウンセラーの派遣等に努める。</li> </ul>
---

## 基本施策2－(2) 健康教育の充実と食育の推進

### 目標

<p>子どもの心身の健康を保持、増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図り、健康を大切にする意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。</p> <p>学校給食において、安全・安心を最優先に徹底した衛生管理に努め、栄養教諭と連携してSDGsを推進する食育指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組みます。</p>
---

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／■今後の方向性	決算額 (千円)
重点	地産地消を推進する食育啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食を生きた教材として捉え、栄養教諭と連携し学校・家庭・地域における食育を推進する。</li> <li>◆地産地消食材を積極的に使用し、栄養バランスと規則正しい食生活の大切さを理解する食育指導を行うとともに、「食」が繋ぐ社会の仕組みや食品ロス等のSDGsの社会問題</li> </ul>	—

		<p>への関心を深めることに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消食材の活用 県内産購入額 53.03% (R3 49.42%) ☉ 明治ごんぼうかりんとう</li> <li>・食育指導の実施 41回 (R3 7回)</li> </ul> <p>▲地産地消の食材や「食」が繋ぐ社会環境に関心を持ち、日々の食生活の中で「食」への積極的に関わろうとする意識が持てるように指導する。</p>	
重点	健康教育の推進・啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な生活習慣を身につけるとともに、必要な質・量・栄養を摂取し自己の健康管理に取り組む姿勢を育てる。</li> <li>◆「朝食を食べる」など「食」に関する意識調査のアンケートを行い、学校給食や家庭での食事における栄養バランスのとれた食習慣の大切さが理解できるよう関連する情報提供や食育指導を行った。</li> <li>・朝食等に関するアンケートによる毎日の朝食摂取率 小学生 86.8%, 中学生 78.4% (R3 87.0%, 80.2%)</li> <li>・朝食指導の実施 18回 (R3 0回)</li> <li>・提供量に対する残食率 小学校 14.82%, 中学校 23.30% ※R4より水分を含んだ計測方法に変更</li> <li>・児童生徒の希望献立の実施 11回 (R3 11回)</li> <li>・給食だより等の資料提供 毎月1回 (R3 毎月1回) 「給食ができるまで」の資料作成 2校 (R3 1校)</li> <li>・施設見学の実施 3回 (R3 1回)</li> </ul> <p>▲学校や家庭において、心身の成長と健康管理に大切な「食」への関心を深め、望ましい食習慣と適切な食事を意識する生活ができるようにする。</p>	—

## 評価

<p>コロナ禍でできなかった対面での指導が可能となり、従来の資料配布等の情報提供とともに学校において食育指導することができた。生きた教材である学校給食の献立のねらいをわかりやすく説明し、栄養バランスの取れた、適切な食事の大切さを理解できるように努めた。</p> <p>地産地消食材の活用推進を図り、他国籍料理の紹介、図書とのコラボ献立など給食の提供方法を工夫し、「食」への関心を深めることができた。</p>	<b>A</b>
---	----------

## 課題と方向性

<p>望ましい食習慣、適切な食事を日々の生活で確立できるように食育指導を積極的に行う。給食時間だけでなく他の学校生活時間の中でも「食」に触れる機会や「食」に係る課題を身近なものとして捉える場面を増やすようにする。また、安全安心で栄養バランスの取れた学校給食が更に魅力あるものになる</p>
--

よう工夫するとともに、学校・家庭・地域で取り組む食育の推進を図る。

## 基本施策 2 - (3) 学校体育, スポーツ活動の充実

### 目 標

子どもたちの生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図るとともに、自他の生命の尊重を基本理念として健康で安全な生活を送ることができる能力、態度、習慣を育てます。1週間あたりの総運動時間が短いこと、運動習慣の二極化の傾向があることなどから、幼児期からの多様な運動の経験、「わかる」「できる」楽しさがある授業の実践、体育的行事や運動部活動を通じた家庭、地域との連携等の充実を図り、運動に親しむ資質や能力を育てます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	小学校学童水泳, 陸上運動記録会 中学校総合体育大会, 新人大会	<p>●中学校総合体育大会や新人大会に参加することで、運動への意識を高める。</p> <p>◆コロナ禍で小学校学童水泳, 陸上運動記録会については、開催を見送ったが、中学校総合体育大会, 新人大会は各専門部が開催方法を工夫し, 可能な限りの感染症対策を講じて, 大会を開催することができた。日頃の活動の成果を発揮する場があり, 子どもたちの活動意欲の向上につながった。</p> <p>▲熱中症対策に万全を期した大会運営を行い, 子どもたちの体力に無理のない運営方法を検討し, 活躍の場を確保することに努める。</p>	—

### 評 価

感染症対策により制限された教育活動でも、各学校において工夫した取組を行うことで、体を動かす時間等を確保することが出来、大会にも参加することができた。体力の向上について、小学校では男女とも概ね全国平均を上回るなど一定の成果は出たが、メディア等の視聴時間が長いことや運動習慣の二極化は解消できていない。

B

### 課題と方向性

基本的な生活習慣の確立について、地域の子どもの実態を踏まえて、学校・家庭・地域が連携しながら具体的な取組を検討する必要がある。小中一貫教育の推進により、学校運営協議会で9年間を見通した具体的な取組を充実させていくことで、課題解決を図る。

### 基本施策3 (重点) 郷土愛の育成

(学校教育課)

#### 目 標

学校(園)においては、学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域人材バンクや地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組みます。そして、子どもにとって望ましい教育環境を整え、より一層教育効果を高めていくために、笠岡市立小、中学校の学校規模適正化計画をもとに、学校規模適正化を推進します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	コミュニティ・スクール事業	<p>●校長の学校運営に関する権限と責任の下、地域住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と家庭、地域住民等の相互の信頼関係を基に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する。</p> <p>◆中学校ブロックでの学校運営協議会の開催により保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。</p> <p>中学校ブロック単位 6 協議会、学校単位 1 協議会</p> <p>▲中学校ブロックの家庭、地域、学校で子どもたちの成長を支える基盤となるよう継続して推進する。</p>	1,019
基本	CMSによる情報発信事業	<p>●インターネットを利用し、学校を紹介するとともに、お知らせや教育方針等の情報を積極的に発信することにより、地域に開かれた学校づくりを図る。</p> <p>◆保護者や地域社会などに、学校の教育活動について、必要な情報を適切な時期に発信できた。</p> <p>ホームページのリニューアルを行い、堅牢性、セキュリティの向上とタブレット端末やスマートフォン端末でも閲覧できる利便性を向上させた。</p> <p>▲学校ホームページを活用し、教育活動の現状を公開し地域に開かれた学校づくりを継続して推進する。</p>	1,257

## 評価

学校運営協議会で、ブロックの目指す子ども像の実現に向け、グランドデザイン、学園名（愛称）、義務教育9年間を見通した活動などを検討した。学区の子どもの実態や課題への対応策など、学区一丸となって子どもたちの教育環境について話し合うことができた。

B

## 課題と方向性

学校運営協議会として、学校運営に参画しているという意識が浸透してきている。今後も、より多くの意見の中で熟議がしっかりと進むよう、熟議の時間の充実、委員の人選、研修会などにより、委員が主体的に学校運営に参画しているという意識を高めていきたい。

## 基本施策4（重点）小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

（学校教育課）

## 目標

児童生徒の適正な規模を確保し、社会性の育成をはじめとする好ましい教育環境と学校運営体制を図り、小中一貫教育の効果をより高めるため現行の学校規模適正化計画を令和元年度に見直しました。これをもとに令和2年度から学校規模適正化計画を実施し、令和5年度までに計画の実現を図るよう進めていきます。

## 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	笠岡市小中一貫教育推進事業	<p>●よりよい教育環境を構築するため、義務教育9年間を見通した教育課程を編制し、系統的な教育を実施する。</p> <p>◆すべての中学校区で教職員の合同研修や乗り入れ授業を充実させた。中学校区ごとにカリキュラムの見直しに取り組んだ。目指す子ども像の横断幕や学園名（愛称）のポスターを作成し、市内小中学校、公民館に掲示した。小中の教職員が各中学校ブロックの目指す子ども像の実現に向け、各ブロックで合同研修会や乗り入れ授業を行い、系統的な教育活動に取り組んだ。「笠岡市の小中一貫教育」のリーフレットを作成したり、一体型小中一貫教育校の設置についての説明会を開催したりして、広報活動を行った。小中の教職員が各中学校ブロックの目指す子ども像の実現に向け、各ブロックで合同研修会や乗り入れ授業を行い、系統的な教育活動に取り組んだ。</p> <p>▲各ブロックの推進体制、年間計画、取組内容について検証、</p>	7,063

		見直しを行い、さらに教育活動の充実を図る。	
重点	小中一貫教育及び学校規模適正化計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学校において、知識や考える力などを身に付けるとともに、集団の中でよりよい人間関係を築くことができるような望ましい学校規模にすることで、自立性、社会性、協調性を培う。</li> <li>▲子どもたちが学校生活の中で、多様な個性と出会い、自己形成に必要な集団活動が実現できるよう計画を推進する。</li> </ul>	—
基本	小中一貫教育コーディネーターの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中一貫教育を推進するにあたり、課題の把握、情報の共有、合同研修会や乗り入れ授業等の調整等を行い、小中の円滑な接続を図る。</li> <li>◆各ブロックの学校運営協議会の企画、グランドデザインの策定、乗り入れ授業の調整等に取り組んだ。</li> <li>▲一貫教育の本格実施の中で、ブロック内の学校の調整役として、計画を推進する。</li> </ul>	13,377

## 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>●小中一貫教育の試行により、乗り入れ授業や交流活動、地域学を実施しながら、本格実施に向けた中学校ブロックのグランドデザインや、子どもを育てる具体的な活動を検討・計画することができた。また、小中学校の教職員の、互いのよさを取り入れる意識が高まり、授業や生活指導に生かされてきた。「中学校で学習する内容が楽しみである」、と思う小学6年生が前年度よりも約10%増加し77%となるなど、子どもの学習意欲向上にもつながった。</li> </ul>	B
---	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●分離型の小中一貫校であるため、打合せや乗り入れ授業の実施には、移動時間や時間調整などに、教員に負担がある。今後もICTやカリキュラムを有効活用して打合せ時間を短縮したり、乗り入れの補充教員を配置したりすることで、教職員の負担が減るよう努める。</li> <li>●笠岡市の小中一貫教育について、小中一貫教育日より、広報かさおか、リーフレット等で周知を図ったが、今後も子どもたちの様子や成長を発信して、地域、家庭、学校の協力体制の強化に繋げる。</li> <li>●児童生徒数の変動により、今後の適正化計画の修正も必要になる。長期的な視点をもって、子どもたちの教育環境が適正な規模となるよう計画を進める。</li> </ul>
--

## 基本施策5 学校施設等の整備

(教育総務課)

### 目 標

学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、安全性を備えた施設環境を形成することができるように、施設整備に努めます。また、「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき、小中一貫教育を実施するための施設整備に取り組みます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	学校施設の大規模改修事業	<p>●児童生徒が安心・安全に生活できるよう、経年による建物の損耗、機能低下に対する復旧措置を行うとともに、現在の教育現場にあった改装等を行う。また、災害時に避難所になることから、スロープを設置することにより、バリアフリー化を図る。</p> <p>◆笠岡東中学校：屋内運動場大規模改造工事 屋内運動場スロープ設置工事</p> <p>▲年次的に大規模改修工事を実施し、学校施設の維持管理を図る。</p>	128,612
基本	トイレの洋式化等整備事業	<p>●児童生徒が安心して利用できるよう、また災害時において避難場所としての役割を担えるよう衛生的で快適な洋式トイレを年次的に整備する。</p> <p>小学校：金浦小学校，城見小学校，大井小学校 中学校：金浦中学校</p> <p>【小・中学校のトイレ洋式化率】 令和4年度末 50.3%（令和3年度末 48.8%）</p> <p>▲計画的にトイレの洋式化工事を行い，教育環境の改善を図る。</p>	4,725
基本	小中一貫教育校の施設整備事業	<p>●「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画」および「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき，施設一体型小中一貫校を整備するため，諸準備を進める。</p> <p>◆小中一貫教育校整備検討委員会の開催 6回 金浦中学校ブロック小中一貫教育校基本計画の策定</p> <p>▲新校舎建設場所が土砂災害警戒区域に掛かっていることから，今後より安全な場所への建設について検討を重ね，基本設計・実施設計につなげていく。</p>	14,807

## 評価

- 学校施設の大規模改修については、計画通り実施することができた。
- トイレの洋式化工事については、予定通りすすめることができた。
- 金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討委員会で、専門家・保護者・地域の方・先生等多くの方のご意見を伺いながら、基本計画を策定することができた。ただ、新校舎建設場所が土砂災害警戒区域に掛かっていることから、議会より「安全な場所に建設すべき」との意見があり、建設場所について、再度、検討することとなった。

B

## 課題と方向性

- 学校施設の大規模改修については、年次的・計画的に予算要求をし、改修していく。
- トイレの洋式化等整備事業については、次年度以降も使用頻度を考慮しながら実施していく。
- 金浦中学校ブロック小中一貫教育校の整備については、保護者・地域住民等への説明を丁寧な、継続的に行うことで、より多くの方にご理解いただく。基本計画における施設整備の基本方針やコンセプト、導入する機能、必要諸室などを踏まえた上で、安心・安全な場所への新校舎の建設を進めていく。

## 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》

### 基本施策6 (重点) 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

(生涯学習課)

#### 目 標

市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館や図書館等の社会教育施設の利用促進を図るため、各施設の環境整備・サービスの充実を図ります。

- ・ 図書館においては、来館者が利用しやすい環境の整備や、ニーズに合った図書や自習室の拡充等、サービスの充実を図ることで、来館者数の増加につなげます。
- ・ 公民館、サンライフ笠岡、老人福祉センター等での講座をはじめ、市民団体等が自主的に行う学級等を支援し、市民が学ぶ機会の充実を図ります。
- ・ 市民ニーズを把握し、ニーズに応じた講座を新設する等、学習内容を充実します。さらに、ホームページやSNS等を活用し、学習情報を広く提供します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	公民館等講座	<p>●講座を通じて、地域住民が気軽に集い、学び、多くの人と交流することによって、心豊かで潤いのある人生を送る機会を提供する。</p> <p>◆・中央公民館</p> <p>主催講座： 4講座 受講者： 849人 (R3 4講座 受講者： 555人)</p> <p>自主講座： 42講座 受講者： 7,819人 (R3 46講座 受講者： 6,450人)</p> <p>・地区公民館(20館)</p> <p>講座： 320講座 受講者： 62,134人 (R3 341講座 受講者： 49,133人)</p> <p>▲若い世代にも興味を持って集まってもらえるような講座づくりを検討する。</p>	1,443
重点	図書館事業	<p>●誰もが気軽に利用できる図書館を目指すことにより、来館者数の増加につなげ、市民の読書意欲を高める。</p> <p>◆・図書館運営事業(カウンター業務、ブックスタート事業、巡回文庫業務等)</p> <p>・行事の開催(紙芝居とおはなしの会、子ども映画会、本のリサイクル会、講演会「津田白印と甘露育児院」等)</p> <p>・図書館(本館)への来館者数 78,199人</p>	81,152

		<p>(R3 66,414人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館（本館）での貸出冊数 226,180冊</li> </ul> <p>(R3 215,225人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車「かぶとがに号」の更新は、半導体の欠品が続いたため令和5年度に繰り越した。</li> </ul> <p>▲幅広いニーズに対応した資料・情報を収集・整理・提供するとともに、より多くの利用者から信頼される図書館となるように努める。移動図書館車の更新は引き続き進め、子どもから高齢者まで利用しやすく親しまれる車になるよう準備する。</p>	
基本	公民館活動助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の主体的な参加のもとに行う各公民館独自の活動事業を積極的に推進することにより、地域の課題解決を図り、心豊かでたくましい人間尊重のまちづくりを推進する。</li> </ul> <p>◆20地区公民館 101事業 (R3 100事業)</p> <p>▲地域ぐるみの社会参加活動を積極的に推進することで、住民同士のつながりを強め、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。</p>	5,762
基本	まちづくり出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の自主的な生涯学習活動を支援する。</li> </ul> <p>◆講座メニュー 77講座 (R3 76講座)</p> <p>実施件数 284件 (R3 177件)</p> <p>受講者数 9,982人 (R3 6,562件)</p> <p>▲今年度から講座終了後にアンケートを実施する。受講者のニーズを把握しつつ、担当課と連携を図りながらメニューの増加を図る。</p>	—
基本	市民大学教養講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化や知識を広い視野から吸収するための学びの場を提供することにより、生きがいや豊かな人生を過ごすための一助とする。</li> </ul> <p>◆講座数 1回 (R3 中止)</p> <p>延べ人数 59人 (R3 中止)</p> <p>▲受講生が希望する、郷土の歴史・文化・遺跡等について学べる機会を提供する。</p>	75
基本	たくましい笠岡っ子事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども達が自然体験や社会体験等を通じて自主的に活動していく中で、たくましさを身につける。また、地域の職業体験や世代間交流を通じて、地域への愛着を深める。</li> </ul> <p>◆笠岡子どもフェスティバルとの協働事業として実施した。</p> <p>開催回数 3回 (R3 3回)</p> <p>参加者数 43人 (R3 47人)</p>	29

		▲高校生ボランティア（VYS）との連携も図りながら、より地域への愛着が深まるようなメニューを企画する。	
基本	生涯学習カレンダー等の作成・配布	<p>●情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。</p> <p>◆生涯学習カレンダー 年2回（206部/回） （R3 年2回 240部/回） ぼっけえかさおかわんぱく宝箱 年4回（4,748部/回） （R3 年4回 4,700部/回）</p> <p>▲児童・生徒がより興味を持つようクイズ等の企画内容の充実を図る。</p>	137
基本	笠岡市市制施行70周年記念事業	<p>●笠岡市制施行70周年の節目の年に、写真や映像、油彩画等の様々な方法で70年の歴史を振り返ることにより、市民の郷土への理解と愛着を深める。また、施設連携事業により、小中学生に楽しみながら文化施設を巡る機会を提供するとともに、施設の周知を行う。</p> <p>◆（1）70周年記念映像制作事業 ・「わたしたちの笠岡市」DVD100枚 製作・配布</p> <p>（2）企画展「笠岡市70年のあゆみ」 ・写真展 会期11/18～11/20, 2/17～2/19 ・写真集「笠岡市70年のあゆみ」1,500部作成 配布・販売</p> <p>（3）笠岡今昔風景展 ・今昔風景油彩画展示 会期4/1～6/30 油彩画約200点展示, 作品集1,000部刊行</p> <p>（4）施設連携事業 ・カブトガニ博物館, 竹喬美術館, 図書館, 郷土館 4館連携クイズ&amp;スタンプラリー 会期7/16～8/31 達成者数39人</p> <p>▲事業の成果物である映像DVD及び写真集, その元となるデータを将来にわたって保存し活用する。 また, 各文化施設において, 相互の館の周知を行い, 利用を促進する。</p>	1,372

## 評価

●公民館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら運営を行い、地域住民のふれあいを大切にしながら創意工夫を凝らし、地域文化の向上や三世代交流等を行うことが

A

できた。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対して慎重に考えている地区公民館は、規模の縮小や大人数が極力集まらない、ミニ講座などの代替行事を考えて工夫して行事を行うことができた。

- 図書館は、新型コロナウイルス感染症による利用制限が緩和され、対面行事を再開することができた。また、コロナ禍において得たノウハウを活かした子ども向け行事（館内クイズラリー等）も行い、多くの参加があった。これらのことにより、来館者の増加につながった。
- まちづくり出前講座は、講座数に関しては微増であったが、実施数・受講者数に関しては前年度より大幅に増加した。分野別で見ると「防災」が半数を占めており、市民の防災意識の向上に寄与している。コロナ禍においても、市民が前向きに生涯学習活動に取り組める機会を提供できている。
- 70周年記念事業により、市民の郷土への理解と愛着を深めることができた。また、各事業の成果物は、将来に残る貴重な記録となった。

### 課題と方向性

- 公民館は、対面学習だけでなく、オンライン学習に取り組むために、Wi-Fi環境を整備し、他の社会教育施設と連携する。また、南海トラフ巨大地震等、大災害発生が危惧されている中、地域の防災拠点としての役割を担うことも視野に入れつつ、学習の成果を地域課題の解決に向けた活動につなげ、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進する。地域学や県の事業の機会を捉え、公民館に若者が集う、さまざまな人が関わる居場所を提供していく方法を検討する。
- 図書館は、行事の再開及びコロナ禍で得たノウハウを活かしながら運営したことにより、来館者数等が回復した。引き続き、来館者の安全面に配慮しながら、気軽に楽しく利用できる図書館となるように努める。一方、図書館になじみのない市民や障がいや子育て等で利用しづらいと感じている市民、また遠距離にある地域へのサービス提供について、移動図書館車の更新に合わせた巡回文庫業務の見直しや配本業務の充実及び市長部局・地域・学校との連携を図りながら、読書の場を提供していく方法を検討する。
- 生涯学習の推進について、直近の市民満足度調査において、60代の満足度が低かったことから、出前講座受講者へのアンケートを基にメニューの増加を図る。また、近年、教育格差の一つとして家庭状況による子どもの「体験格差」の問題が指摘されている。格差を緩和するため、たくましい笠岡っ子事業などの体験活動の機会を引き続き、提供していく。

## 基本施策7 生涯学習によるまちづくり

(生涯学習課)

### 目 標

地域課題の解決や地域の特徴を活かした地域づくりの場としての公民館やまちづくり協議会の取組の状況や活動の成果を広く知らせる等、市民や団体が活動成果を発信する機会をつくり、市民の主体的な学習や活動意欲を引き出します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	生涯学習フェスティバル	<p>●生涯学習に取り組む団体の活動発表の場を提供することにより、生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促す。</p> <p>◆生涯学習功労者表彰、舞台発表、展示発表、体験・販売等を実施した。また、高校生を対象にした「ポスターデザインコンテスト」を実施した。令和元年度以来3年ぶりの参集形式の開催となった。</p> <p>参加団体数 64 団体 (R3 26 団体) 参加者数 約 3,150 人 (R3 280 人)</p> <p>▲小中学生による地域探究のプレゼンテーション発表など、幅広い世代に参加を促す。</p>	598

### 評 価

<p>生涯学習フェスティバルは、コロナ感染防止対策に配慮しながら、概ねコロナ禍前（令和元年度）と同様の形式・規模で開催することができた。</p> <p>このほか、市民の安全を優先的に考えながら、青少年スピーチコンテストや「明るい家庭づくり」作文等、各種事業を開催し、市民に生涯学習活動の成果を発揮する場を提供することができた。</p>	<b>A</b>
---	----------

### 課題と方向性

生涯学習フェスティバルについて、中高年に比べて若年層の参加が少ないことから、地域探究に取り組んでいる小中学校に参加を依頼し、地域住民に地域の魅力を再発見してもらう機会を作るなど、より幅広い世代の参加を促し学びの輪を広げたい。

青少年スピーチコンテストについて、近年、応募が低調となっているため、小学生（英語の部）を新設するなど、コンテストのあり方を見直していきたい。

## 基本施策 8 (重点) 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

(生涯学習課)

### 目 標

家庭・地域・学校における人と人とのつながりの輪を広げる交流を盛んにするとともに、地域文化を高め、地域に誇りを持つことのできるように地域全体で子どもの健やかな成長を見守りながら、地域ぐるみの教育支援を行います。

- ・関係機関等と連携を取りながら地域の人材育成に取り組む等、地域の教育力向上を図ります。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との連携を深め、一体的な推進を目指します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	地域学校協働本部事業	<p>●学校の支援活動を通じて、保護者、地域住民、学校関係者等の連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。地域住民等の参画による学校教育を支援する組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援、学校の環境整備や行事の支援を行うとともに、活動を通じて地域のつながりを強化する。</p> <p>◆市内14地区の小中学校で、地域住民や保護者がボランティアとして学校教育を支援した。(R3 14地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 15校 (R3 15校)</li> <li>・中学校 6校 (R3 6校)</li> <li>・年間実施日数 延べ3,178日 (R3 2,994日)</li> <li>・年間ボランティア参加者数 延べ30,640人 (R3 27,741人)</li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	2,002
重点	放課後子ども教室推進事業	<p>●児童生徒が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、放課後等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。</p> <p>◆市内6か所において、放課後や週末を中心に子ども教室を開設した。(R3 6地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間実施日数 延べ296日 (R3 延べ206日)</li> <li>・年間参加者数 延べ7,631人 (R3 延べ1,628人)</li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	787

重点	土曜日教育支援事業	<p>●児童生徒が土曜日や休日等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、土曜日や休日等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する。</p> <p>◆市内9か所で土曜日等における授業や課外授業支援、学習等を行った。(R3 10地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間実施日数 延べ106日 (R3 延べ84日)</li> <li>・年間参加者数 延べ1,934人 (R3 延べ1,240人)</li> </ul> <p>▲学校運営協議会との一体的な推進を図る。</p>	398
重点	青少年宿泊体験事業 (北木島宿泊研修所)	<p>●北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。</p> <p>◆北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し、島ならではの地域資源を活用した体験学習を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数 670人 (R3 403人)</li> </ul> <p>▲アフターコロナを踏まえて、受入体制や提供プログラムの構築や見直しなどを行い、充実した学習機会を提供するとともに、施設の環境整備を進めていく。</p>	5,787
基本	青少年健全育成事業	<p>●地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。</p> <p>◆交付団体数 11団体 (R3 11団体)</p> <p>▲学校との連携をより強化し、青少年を見守る体制を整備していく。</p>	882

## 評価

<p>●地域学校協働活動は、コロナの感染状況が落ち着いたこともあり、活動機会が増加し、多くの市民に参画してもらい、学校教育の支援及び子ども達への社会体験の提供につなげることができた。また、実施団体を支援するため、情報交換会を兼ねた研修会を開催した。</p> <p>●青少年宿泊体験事業は、独自のガイドラインを作成し感染防止対策を講じながら運営に努め、宿泊に限らず日帰りの要請にも対応した。コロナの感染状況が落ち着いたこともあり、使用者数は順調に回復している。</p>	<b>B</b>
---	----------

## 課題と方向性

<p>放課後子ども教室推進事業や土曜日教育支援事業は、実施団体への助言や支援を徹底し、団体の負担軽減を図りたい。これらの地域学校協働活動をより家庭・地域・学校の連携のもと一層活性化するためには、学校運営協議会との一体的な推進を図る必要がある中、キーパーソンとなる地域学校協働</p>
---

活動推進員を研修会開催などを通じて、支援していく。

## 基本施策9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

(生涯学習課)

### 目 標

市民団体等の育成・支援を図り生涯学習の輪を広げることにより、活力ある地域社会を形成します。  
 ・社会教育関係団体や市民団体と行政との協働による事業を進めることで、市民の知恵や力をまちづくりに発揮できるようにします。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	諸学級事業	<p>●同世代あるいは世代の垣根を越えた仲間たちが、地域社会や家庭に根差した、継続的な生涯学習活動を行う機会を提供する。</p> <p>◆生涯学習活動を行う各諸学級に対して補助金を交付し、活動の支援を行った。</p> <p>・学級数 幼児2 女性6 成人9 高齢者1 チャレンジ2                      (R3 幼児2 女性7 成人8 高齢者1 チャレンジ2)</p> <p>▲事業主催者に対して補助制度の存在を広く周知して、学級数を増加させる。</p>	568
基本	子どもフェスティバル	<p>●気軽に楽しめるレクリエーションなどを通して、親子のふれあいや参加者相互の親睦を図る。また、市民がボランティアスタッフとして参画することでボランティア精神の醸成を図る。</p> <p>◆感染対策を徹底し、小規模イベントを4回に分けて開催した。</p> <p>【1日目】 ・ハロウィンお菓子プレゼント                      ・リトミック、ニュースポーツ                      ・ハロウィン工作</p> <p>2～4日目は「たくましい笠岡っ子」との協働事業として実施した。</p> <p>・参加者数 89人 (R3 中止)</p> <p>▲感染対策に配慮した上で、コロナ前と同様、ゴールデンウィーク中(4月29日)に開催する。</p>	128

## 評価

子どもフェスティバルは、過去2年間中止となっていたが、社会教育団体で構成する実行委員会で何度も協議を重ねて、3年ぶりに開催することができた。小規模・分散開催とはなったが、各社会教育団体とコロナ禍でも子ども達に体験活動の機会を与えたいとの思いを共有し、アフターコロナにおける通常開催の再開の機運を醸成できた。

B

## 課題と方向性

近年、笠岡市子ども会育成連絡協議会や笠岡市婦人協議会において、会員数・会員団体数が減少しており、会員や担い手の確保や育成が急務である。コロナの影響が小さくなったことから、既存団体の会員・役員が楽しめるイベントの再開を支援し、会員の維持と活動の継続を図りたい。あわせて、近年、新設されたNPO法人など、新たに団体との連携も図りたい。

## 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》

### 基本施策 10 文化財の保護・活用

(生涯学習課)

#### 目 標

文化財を総合的に保護・活用するための基本構想を策定し、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。

また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化財の保護・活用事業	<p>●文化財の調査を行い、重要なものは指定・保護して後世に伝えるとともに、公開活用を促進し、笠岡市の文化及び魅力と活力の向上を図る。</p> <p>◆【主な事業】</p> <p>○歴史文化を守り、育て、伝える 文化財指定等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコ無形文化遺産「風流踊」（白石踊）登録</li> <li>・国登録記念物（名勝地関係）「清水氏庭園」登録</li> </ul> <p>笠岡市重要無形民俗文化財保存事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県、市指定文化財 合計7件に補助</li> </ul> <p>埋蔵文化財発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原貝塚 こども園遊戯棟新築に係る確認調査</li> </ul> <p>文化財施設の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬業館、関戸廃寺、長福寺裏山古墳群</li> <li>・遍照寺多宝塔</li> </ul> <p>○歴史文化を効果的に活かす</p> <p>郷土館、井笠鉄道記念館における情報発信</p> <p>日本遺産「石の島」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石の島ガイド養成講座 全3回</li> <li>・ワークショップ、講演会 全2回</li> <li>・児童生徒・教員の研修、現地見学 全3回</li> <li>・シンポジウム 1/18</li> <li>・サイト「せとうち石の島」石の島コラム 2編追加</li> </ul> <p>○歴史文化を守り、育み、活かすための基盤をつくる</p> <p>白石踊後継者育成事業</p>	7,940

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期練習会 14 回開催 (R3 定期練習会 9 回)</li> <li>・ 出前講座, 鑑賞体験ツアー, イベント参加 5 回</li> </ul> <p>▲文化財調査を継続するとともに, その成果を保護施策に反映させる。また活用事業として地域のことを知る機会を提供し, 郷土への愛着と誇りを涵養する。</p>	
基本	笠岡ふるさと再発見事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若い世代に笠岡の歴史・文化に触れる機会を提供することにより, 笠岡の魅力を再発見してもらい, 笠岡市への愛着を涵養する。</li> <li>◆「笠岡へもっと愛着を持ち隊」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化財めぐりハンドブック」(改訂版) 作成 製作部数 3,500 冊 小学生及び関係機関に配布, 一般販売</li> <li>・文化財等レポートの募集 募集期間 7/16~11/30 提出レポート数 64 点 (R3 45 点)</li> <li>・優秀作品の展示 笠岡市立図書館 1/24~2/8 笠岡市生涯学習フェスティバル 2/12</li> </ul> </li> </ul> <p>▲引き続き, 小学生と保護者世代に笠岡市の歴史文化と接する機会を提供する。</p>	553

## 評価

<p>文化財の調査・指定を少しずつ進めていくことで, 将来の保全や活用の基礎を整えることができた。また, これまでの長年にわたる文化財調査研究活動が実を結び, 清水氏庭園が国登録記念物に, 白石踊がユネスコ無形文化遺産に登録された。これにより, 今後の認知度向上が期待されるとともに, 関係者の保存継承に対する意識も高めることができた。</p>	A
--	---

## 課題と方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>●笠岡市にとって重要な文化財については, 引き続き保存・継承を図る。また, 文化財の調査を継続し, 個々の文化財の歴史的な価値を明確化していく。</li> <li>●文化財講座・企画展等の情報発信についても, その時々ニーズに応じて積極的に取り組む。また「笠岡へもっと愛着を持ち隊」は, 小学生と保護者世代に笠岡市の歴史文化と接する機会を提供することができる事業であるため, 継続していきたい。</li> </ul>
---

## 基本施策 1 1 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

(生涯学習課)

### 目 標

美術館設立の趣旨を基本に、市民のニーズを踏まえた魅力的で多様な企画展の開催や環境づくりにより、市民が何度でも訪れたい場所へと変革していきます。

- ・ 幼児・児童・生徒の来館促進
- ・ 市民が見る、知る、体験する場と機会の創出
- ・ 電子媒体の活用促進

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	開館40周年記念 展覧会事業	<p>●市民が見る、知る、体験する場と機会を得られるようにし、文化の向上を図る。</p> <p>◆入館者総数 12,777人 (R3 10,944人)</p> <p>○特別陳列「大正の文人画ネットワーク -加野コレクションを中心に-」</p> <p>○特別陳列「開館40周年記念 栖鳳と京都の日本画」</p> <p>○特別展「開館40周年記念 生誕150年 山元春拳」</p> <p>○特別陳列「開館40周年記念 移ろふ自然 小野竹喬」</p> <p>○特別展「開館40周年記念 洋画の玉手箱 谷コレクション」</p> <p>○特別陳列「開館40周年記念 歌を楽しむ 清水比庵」</p> <p>▲竹喬研究を主軸としながら、若い世代にも興味を持ってもらえるような展覧会を企画する。</p>	17,523
基本	空調熱源機器更新事業	<p>●老朽化した空調設備のうち、緊急性の高い熱源設備を更新し、来館者が快適に過ごすことができる環境を整備する。また、安定した展示・収蔵環境を整える。</p> <p>◆空調熱源機器の更新のため、実施設計を行った。部品の調達に時間を要したため、更新工事は令和5年度に繰り越した。</p> <p>▲今後も引き続き、計画的に修繕を進める。</p>	2,152
基本	市制施行70周年記念事業	<p>●市制施行70周年を記念し、笠岡高校生徒による「小野竹喬広め隊」の活動を支援するとともに、竹喬作品のA4クリアファイルを復刻制作し、美術館の周知を図り、誘客に繋げる。</p> <p>◆「小野竹喬広め隊」の活動を支援してモザイクアートのた</p>	627

		<p>めの写真の収集及び整理に取り組み、竹喬祭において完成作品を披露した。</p> <p>竹喬美術館クリアファイルを4種類（A4判2種、A5判2種）を複製制作し、販売を開始した。</p> <p>▲制作したモザイクアートとファイルを活用する。</p>	
基本	各種イベント開催事業	<p>●美術館に親しみ、絵画に興味を惹かれるような機会を作る。</p> <p>◆地域学と連携した美術館訪問、授業（継続）</p> <p>子ども対象の「ステンシル体験」、「パステル画体験」開催（新規）</p> <p>小学生対象の「まるごと美術館探検」開催（継続）</p> <p>子ども絵画教室開催（継続）</p> <p>市民画家作品の公共施設展示（新規）</p> <p>竹喬茶会（竹喬生誕祭）</p> <p>各展覧会におけるギャラリートーク開催（継続）</p> <p>▲多世代が美術と美術館に足を運びたいくなるよう、切り口を変えた様々なイベントを企画する。</p>	68

## 評価

<p>令和4年度は、休館することなく年間を通じて開館することができ、展覧会は予定どおり開催することができた。</p> <p>展覧会は日本画を主体としながらも、洋画の個人コレクションの展示という、これまでとはひと味異なる展示に取り組み、来館者の幅を広げることができた。</p> <p>空調熱源機器の更新を年度内に終了すべく手続きを進めていたが、半導体の世界的供給不足及び運送停滞によって部品の調達が困難となり、工事は翌年度に繰り越しとなった。</p> <p>小学校児童の美術館訪問の積極的な受け入れ、イベントの開催、小中学校への竹喬版画の展示など、若年層へのアプローチに継続して取り組んだ。笠岡高校の地域学ACTから始まった「竹喬広め隊」の取組であるモザイクアートは、約3,000枚の写真を集めて竹喬の「樹間の茜」が完成し、11月の竹喬祭でお披露目をする事ができ、若年層が竹喬と美術館に親しむ機会を増やすことができた。</p>	B
--	---

## 課題と方向性

<p>特別展で実施しているアンケートからは、企画及び展示への満足度は高く、また竹喬作品への安定した評価がうかがえる。入館者の年齢層が高齢者に偏ってはいるものの、少しずつ若年層の来館が増加していることは確かであるが、さらなる若年層へのアプローチは依然として課題である。</p> <p>このため、竹喬美術館の使命である、小野竹喬の業績の顕彰や竹喬の周辺画家の研究は大切にしながら、若い世代に魅力を感じてもらえる企画展を積極的に組み込み、バランスよく集客力のある展覧会の充実を図る。</p>
--

また、竹喬並びに美術館の認知度を上げるため、若い世代に竹喬の偉業と財産を伝える各種イベントにも継続して取り組む。

開館から40年が経過する施設の老朽化と収蔵庫の不足は大きな課題である。施設・設備の長寿命化は計画的に取組を進めているので、収蔵スペースの確保について、中期的、長期的なビジョンのもと、手法、費用等の検討を進める。

## 基本施策 12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

(生涯学習課)

### 目 標

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。また、文化向上の拠点整備に努めます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	文化事業の充実	<p>●芸術・文化活動の活性化によって知性と文化意識の高揚を図り、長期的な視点で文化的風土を育む。</p> <p>◆笠岡市さつき・新緑展 5/27～29 入場者数 464 人 (R3 中止)</p> <p>夏休み子ども体験教室 7/23, 30, 31 参加者数 161 人 (R3 中止)</p> <p>名月観賞の夕べ 中止 (R3 中止)</p> <p>笠岡市菊花展 10/28～11/6 入場者数 1,063 人 (R3 855 人)</p> <p>笠岡市芸能祭 11/3 入場者数 350 人 (R3 無観客収録・TV 放映)</p> <p>笠岡市文化祭 11/4～6 入場者数 1,137 人 (R3 1,184 人)</p> <p>笠岡市児童・生徒美術展 1/21～22 入場者数 2,427 人 (R3 2,616 人)</p> <p>笠岡市美術展 2/17～19 入場者数 1,880 人 (R3 1,364 人)</p> <p>▲今後も芸術・文化活動の火を絶やさぬよう各事業を継続するとともに、市民に多様な芸術文化に触れる場を提供する。</p>	861

基本	能・狂言体験学習	<p>●小、中学生の伝統芸能への関心・理解を深め、豊かな情操を育むとともに、将来の文化活動を担う人づくりを推進する。</p> <p>◆①体験コース（2時間×1回） 能：大島中学校 狂言：新山小学校・城見小学校 笠岡小学校・今井小学校（合同）</p> <p>②継続発表コース（2時間×7回） 狂言：神島外小学校</p> <p>▲若い世代の芸術文化への関心・理解を深めるため、伝統芸能に触れる場を提供する。</p>	233
基本	笠岡市木山捷平文学選奨	<p>●笠岡市出身の小説家木山捷平氏の業績を顕彰することで、文芸創作活動の活発化と、文芸創作活動をする市民の増加を図る。</p> <p>◆第18回木山捷平文学選奨 【全国公募】 短編小説 応募作品数 222編（R3 223編） 【市内小・中学生の部，一般の部（高校生含む）】 随筆 応募者数 一般17人（R3 14人） 詩 応募者数 一般11人，小中学生1,314人 （R3 一般16人，小中学生1,199人） 短歌 応募者数 一般11人，小中学生371人 （R3 一般10人，小中学生418人） 俳句 応募者数 一般39人，小中学生1,063人 （R3 一般37人，小中学生1,055人） 川柳 応募者数 一般30人，小中学生247人 （R3 一般33人，小中学生171人）</p> <p>▲各部門の募集を継続するとともに、応募者のさらなる増加を図る。</p>	2,393
基本	郷土文学者顕彰事業	<p>●郷土の優れた文学者の業績を顕彰し、文学資料を保存・展示することにより郷土の文学振興に寄与し、ひいては笠岡の魅力を広く発信する。</p> <p>◆森田思軒顕彰講演会 11/22 参加者数50人（R3 30人）</p> <p>▲森田思軒の顕彰とともに、木山捷平文学資料の整理及び木山捷平生家の整備も進めていく。</p>	214
基本	市民会館運営事業	<p>●市民の生活、文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。</p> <p>◆笠岡市民会館を管理・運営するとともに、市民会館を利用</p>	94,165

		<p>した自主講座や文化芸術鑑賞に係る事業を一般財団法人 笠岡市総合福祉事業団吸江社へ委託。</p> <p>【施設整備関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館ホール棟屋上防水・外壁改修工事前払金 (R5 へ繰越)</li> <li>・市民会館受電設備内遮断器取替工事</li> <li>・低濃度 PCB 汚染廃電気機器等処分委託料</li> </ul> <p>▲今後、年次的に改修工事を行い、長寿命化を図る。</p>	
基本	<p>文化賞揚事業 ※前年度評価時の指摘事項（追加記載）</p>	<p>●笠岡市を代表して文化・芸術部門における中国地区及び全国大会以上に参加・出場した市民に賞揚金を贈呈し、選手を激励する。また、世界大会・全国大会・中国大会・県大会成績優秀者に対し、文化特別賞を授与し、その栄誉を称える。</p> <p>(公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団事業)</p> <p>◆全国大会出場 4人 (R3 7人) 中国大会出場 5人, 1団体 (R3 10人) 文化特別賞 中国大会優勝 1人, 1団体 (R3 -) 県大会優勝 1人 (R3 3人, 1団体)</p> <p>また、成績に応じて懸垂幕等の掲揚を実施。</p> <p>▲市を挙げて文化・芸術に携わる方を応援し、出場する選手だけでなく、市民の励みになるよう努める。</p>	140

## 評価

<p>●引き続きコロナ禍の中で中止となった事業はあったが、令和2年度、3年度と中止していた事業も感染症対策を講じながら再開でき、市民参加による文化振興事業を実施することができた。</p> <p>●第18回となった笠岡市木山捷平文学選奨では、全国公募の短編小説は222作品（前年-1）、他部門は3,103人（前年+150人）で、短編小説は昨年比で微減したものの、他部門については昨年度比で若干増加した。また、全国公募の短編小説以外の部門において新たな取り組みとして、「過去に笠岡市内に在住・在学・又は勤務地のあった方を応募資格に加え、6人の方から応募があった。部門毎に多少の増減はあるものの応募者数は安定的に推移しており、木山捷平と笠岡市の取り組みを全国に発信することができた。</p> <p>●市民会館は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら運営を行い、市民に文化活動の場を提供することができた。また、多様な文化活動を企画・実施することにより、市民相互の親睦を図り、市民教養を高める場として、アフターコロナにおける文化芸術活動の再始動を促すことができた。</p>	A
---	---

## 課題と方向性

- 芸術文化活動については、幅広い世代の市民に参加・鑑賞できる機会を引き続き提供していくとともに、各団体が実施している事業を支援し、担い手の育成を図る。
- 木山捷平文学選奨事業については、文芸創作活動のさらなる活発化を目指し、高校生等若い世代の応募者の増加を図る。
- 市民会館については経年劣化が進んでいるため計画的に改修工事を実施し長寿命化を図り、文化向上の拠点としての役割を果たせるよう整備を行う。

## 基本施策 13 (重点) カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

(生涯学習課)

### 目 標

カブトガニが繁殖力を取り戻すまで、カブトガニ保護の活動を継続していきます。

また、子どものうちから干潟等の環境保全の重要性とカブトガニ保護の意義を理解してもらうための多様な取組を行うとともに、カブトガニと博物館を活かした笠岡市のPRを行い、様々な機会を利用して全国に情報発信していきます。

近年は水質の改善や海の環境保全の取組も相まって、以前はほとんど見る事ができないくらいにまで減少していたカブトガニも、平成21年度からは連続して自然界での産卵を確認し、令和3年度には成体8匹、幼生82匹を繁殖地内で確認しています。

カブトガニの個体数は着実に増加しているものの、まだまだ自然に繁殖して定着するまでには至っていないため、今後も人工飼育と幼生の放流を継続していく必要があります。

・カブトガニの幼生の継続的な飼育環境を確保する必要があるため、老朽化したカブトガニ飼育棟を年次的に改修します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	カブトガニ飼育環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カブトガニの幼生の継続的な飼育環境を確保する必要があるため、老朽化したカブトガニ飼育棟を改修する。</li> <li>◆飼育棟内部改修工事</li> <li>▲引き続き、自家発電設備・飼育池・飼育水槽の改修を行い、飼育環境の向上に努める。</li> </ul>	3,993
基本	幼生の飼育・放流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●笠岡に生息するカブトガニが人の手を借りることなく、自然に繁殖力を取り戻すまで、幼生を飼育し放流を行う。</li> <li>◆幼生放流数 41匹 (R3 2,365匹)</li> <li>▲今後も幼生を飼育し、放流できる数を増やしていく。</li> </ul>	4,031

基本	繁殖地内での産卵・ 幼生・成体調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カブトガニの生息状況を確認するため定期的な調査を行う。</li> <li>◆幼生調査 93 匹確認 (R3 82 匹) 成体調査 14 匹確認 (R3 8 匹) 繁殖地内での自然産卵確認 0 カ所 (R3 6 カ所)</li> <li>▲繁殖地の現状把握に向けて、調査エリアの拡大を行い、新たな産卵場所や幼生の生育場所の有無を調べるなど、より詳細なデータの把握に努める。</li> </ul>	36
基本	監視活動、干潟・砂浜の保護活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カブトガニの生息環境を良好に保つため、繁殖地の保護を行う。</li> <li>◆カブトガニ保護啓発運動 令和 4 年 5 月 28 日 257 人参加 (R3 75 人) 保護監視活動 4 月～11 月 50 日実施 入浜者数 266 人 (R3 46 日実施 入浜者数 350 人)</li> <li>▲保護啓発だけでなく、繁殖地の保護につながる様々な啓蒙活動を展開し、カブトガニ保護に対する意識の向上を図る。</li> </ul>	3,523
基本	特別展、特別陳列の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然とカブトガニについて学ぶ機会を提供する。</li> <li>◆入館者総数 61,439 人 (R3 42,173 人) 特別展示「歯!!!」展 令和 4 年 7 月 16 日～10 月 2 日 期間中入館者 20,638 人 特別陳列「俺たちの標本作り」展 令和 5 年 2 月 1 日～3 月 31 日 期間中入館者 8,858 人</li> <li>▲今後もより多くの方の興味を引き、集客につながる魅力的な企画展を開催する。</li> </ul>	5,017
基本	博物館の P R	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS の情報発信ツールを積極的に活用して、博物館の魅力を広く発信する。</li> <li>◆X (旧 twitter) 令和 4 年 12 月開始 フォロワー 199 名 (令和 5 年 3 月末)</li> <li>▲引き続き、カブトガニ博物館の周知度向上につながる情報を発信し、集客につなげる。</li> </ul>	43

## 評価

カブトガニ繁殖地内における自然のカブトガニの個体数確保のため、引き続き幼生を飼育し放流を行っていく。企画展のうち、特別展示では生物の歯に焦点を当てた展示を行うことができ、特別陳列では展示標本の製作過程を紹介することができた。

また、施設面の改修では、老朽化したカブトガニ飼育棟の内部を改修し、人工飼育のため

A

の基盤強化と、博物館排煙窓修繕や消防設備修繕等、施設の維持と来館・来園者の安全性を図ることができた。	
--	--

### 課題と方向性

カプトガニ博物館には、これまでの役割に加え、調査・研究の充実、情報発信及び観光振興への貢献等の期待が高まっており、新たな運営の工夫が必要となっている。

SNSの情報発信ツールも積極的に活用して、博物館の魅力を広く発信し、入館者増加を図っていく。

## 《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

### 基本施策 14 生涯スポーツの推進

(スポーツ推進課)

#### 目 標

体力づくりや生きがいと健康づくりを重視し、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、日頃運動不足になりがちな人たちも、誰もが気軽に楽しめるスポーツを広めます。また、SNSなどを積極的に利用して広く情報発信を行うとともに、提供する情報内容の充実を図ります。

#### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
基本	地域スポーツ活動事業	<p>●誰でもスポーツが楽しめるまちづくりを目指して、住民に対するスポーツ実技の指導を推進し、スポーツ活動の盛んな地域コミュニティの醸成を図る。</p> <p>◆スポーツ推進委員を派遣し、地域のニーズに合わせた指導を行った。(派遣回数：R4年度23回延べ102名、R3年度8回延べ30名)</p> <p>▲スポーツ推進委員に対して、研修・指導を行い、ポッチャ等新たな協議の大会を開催するなど、幅広い活動に対応できるようスポーツ推進委員の質を高めていく。</p>	660
基本	スポーツ情報提供事業	<p>●イベント情報やスポーツ団体を紹介することで、スポーツに関わる人口の増加を図る。</p> <p>◆ホームページや広報などを活用し、スポーツ情報の提供に努めた。また、「笠岡市のスポーツ」や「スポーツカレンダー」といった情報誌を発行し情報発信を行った。</p> <p>▲インスタグラム、ホームページなどのSNS媒体を使用し、市民だけでなく、より多くの人に笠岡のスポーツ情報を発信していく。</p>	22

#### 評 価

<p>●新型コロナウイルス感染の影響も落ち着きをみせ、スポーツ推進委員を地域へ派遣し、ニュースポーツの普及を行うことができた。スポーツ推進委員の研修や2か月に1回の企画会議についても予定通り行うことができ、今後の普及活動などについて協議することができた。</p> <p>●「笠岡のスポーツ」、「スポーツカレンダー」を作成した。ホームページ及びインスタグラムについては更新頻度を上げ、できるだけ迅速な情報提供を心がけた。また、広報紙においても、スポーツ情報の提供を行った。今後は地元ケーブルテレビやFMラジオ等を利用</p>	A
---	---

し、さらに広く情報発信を行っていききたい。

### 課題と方向性

- スポーツ推進委員の高年齢化が進んでいることが課題となっている。現在19名の委員（定員20名）で運営しているが、今後若年層委員の委嘱を検討する必要がある。ニュースポーツについては、今年度は新たにボッチャの大会を開催する予定とするなど多くの市民が気軽に参加できる大会を増やしていきたい。また、スポーツ推進委員に対する実技指導研修会などを行い、指導力の強化や市民に分かりやすい説明が出来るように質の向上に努めていきたい。
- インスタグラム等、SNSを使った情報発信も積極的に行うだけでなく、地元ケーブルテレビやFMラジオへ出演し告知することで広く市民に情報を伝えていきたい。

### 基本施策15（重点） 競技スポーツの推進

（スポーツ推進課）

### 目標

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／◆令和4年度の主な実績／▲今後の方向性	決算額 (千円)
重点	宝くじスポーツフェア ドリームベースボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トップアスリートを招致・支援することにより、市民に夢と感動を与えると同時に、競技レベルの向上と競技人口の拡大を図る。</li> <li>◆「宝くじスポーツフェア・ドリームベースボール」を誘致し、著名な元プロ野球選手のドリームチームによる野球教室、地元選抜チームとのエキシビジョンマッチ、サイングッズの抽選会などを行い、来場者が最後まで楽しめるイベントを開催できた。</li> </ul>	689
基本	スポーツ賞揚事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●激励会の開催や、懸垂幕の掲揚、また、スポーツ賞揚金の贈呈により、出場選手を激励し、競技レベルの向上を図る。 (公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団事業)</li> <li>◆賞揚内訳：世界大会3件、全国大会60件、中国大会36件（R3年度世界大会1件、全国大会51件、中国大会31件）。スポーツ協会においては、令和4年度の実績等をもとに、特別功労賞1名、奨励賞4名、優秀個人賞59名、優秀団体賞5団体、優秀選手特別賞5名、優秀団体特別賞2団体、優秀監督特別賞1名（R3年度奨励賞4名、優秀</li> </ul>	2,019

		<p>個人賞 65 名，優秀団体賞 2 団体，優秀監督賞 2 名）を選出し，賞揚した。（記念品として盾を贈呈）</p> <p>▲引き続き激励会を開催し，事業継続していく。</p>	
基本	市民スポーツ振興事業	<p>●競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図る。</p> <p>◆市スポーツ協会の委託事業として，3 年ぶりにマラソン大会を開催するなどさまざまなスポーツ活動等に取り組んだ。</p> <p>▲市と連携し，引き続きスポーツ事業を広く実施していく。</p>	4,821
基本	スポーツ教室事業	<p>●生涯にわたって健康や体力を保持していくことができるよう，子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。ゴールデンエイジに運動に親しむ子ども達をつくる。</p> <p>◆幼児スポーツ教室は中止となったが，バスケットボール教室（R4 年度 29 名，R3 年度 29 人）・陸上教室（R4 年度 34 名，R3 年度 28 人）・軟式野球教室（R4 年度 21 名，R3 年度 24 人）・サッカー教室（R4 年度 10 名，R3 年度 10 人）・ソフトテニス教室（R4 年度 11 名，R3 年度中止）・レスリング・マット運動教室（R4 年度 14 名，R3 年度中止）を実施した。</p> <p>▲引き続き教室を開催し，子どもたちのスポーツへの関心を高める。</p>	297

## 評価

<p>●激励会を開催し，市内在住の多くの選手を賞揚することができた。</p> <p>●3 年ぶりにべいふあーむマラソン大会を開催するなど予定していた事業を開催することができた。</p> <p>●市主催のスポーツ教室は予定していた全ての教室を開催することが出来た。</p>	<b>A</b>
---	----------

## 課題と方向性

<p>●スポーツ賞揚事業については，さまざまな競技で頑張るアスリートを応援するため引き続き賞揚事業を継続して実施していきたい。</p> <p>●関係団体と連携を密にし，指導者の養成，大会の開催等に取り組む，競技スポーツの推進を図っていききたい。</p> <p>●児童数の減少により，教室の参加人数の確保が課題となっているが，参加意欲の湧く教室開催と魅力ある教室内容を目指し，子どもたちのスポーツへの関心を高めていきたい。</p>
--

## 基本施策 16 スポーツ施設の整備・充実と活用

(スポーツ推進課)

### 目 標

総合的かつ計画的な施設整備を進め、既存施設の充実・活用を図って利用しやすい環境を整えます。また、笠岡運動公園プールを建替え、市内小・中学校の授業でも利用できるよう整備します。

### 施策を推進する主な事業

区分	事業名	●目的／★令和4年度の主な実績／■今後の方向性	決算額 (千円)
基本	夜間照明施設のLED化事業	<p>●施設の夜間照明のLED化を積極的に行い、維持管理コストやCO<sub>2</sub>排出量の削減、また、明るく見やすくすることで快適な利用が可能となる。</p> <p>◆笠岡陸上競技場、体育センター、運動公園テニスコート及び野球場の夜間照明のLED化を行った。</p> <p>▲体育施設照明のLED化を年次的に進めて行くことにより、省エネ化を図っていきたい。</p>	2,706
基本	プール建替事業	<p>●老朽化したプールを建替え、誰もが快適に利用できるように整備する。また、市内小・中学校が授業でも利用することで市内の学校プールの集約化を図る。</p> <p>◆公設民営方式(DBO方式)によるプールのサウンディング調査をする予定であったが、プールだけでなく公園全体のサウンディング調査を実施することとなりプールのみの調査を中止した。</p>	-

### 評 価

<p>笠岡陸上競技場、体育センター、運動公園テニスコート及び野球場の照明をLED化にすることで、電力削減に繋がった。また照度がアップすることにより、夜間利用者の利便性の向上にも繋がった。</p> <p>プールのサウンディング調査については、プールだけでなく公園全体の調査をすることとなりプールのみの調査を中止した。</p>	<b>B</b>
---	----------

### 課題と方向性

●体育施設照明のLED化を年次的に進めて行くことにより、省エネ化及び利便性の向上を図ってきたい。

### Ⅲ 評価委員の総合評価

丹 生 裕 一 委 員

「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」を見ると、令和4年度の笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況について、コロナ禍が収束に向かうにつれ、多くの事業が堅実に再開できていることを確認した。さらに、それらの実施にあたり、コロナ禍での苦しい経験によって得られた新たな知見を生かした工夫がいくつも見られることを評価したい。四つの各基本方針に沿った16の基本施策の各々について、達成状況にばらつきが見られるものの、総合的に見て目標は「概ね達成された」と評価することが妥当と判断した。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

- 1 《「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進》について重点となる「基本施策1：自立した子どもの育成」に関して、いくつかの課題が認められる。まず、「1-(1)自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育活動の充実」の「目標」の内容と「施策を推進する主な事業」との整合性が低いことである。

次に、「1-(2)確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実」の「施策を推進する主な事業」の中に、学校教育の中軸である毎日の授業の実質的な効果を高めようとする事業がほとんど存在しないことである。全国的な、教材（学習材）や教具（学習用具）のデジタル化の流れは続くだろうが、ICTの環境整備や活用促進に重点をおくだけでは児童生徒の学力や学習に対する意欲・関心・態度の向上が望めないことは、令和4年度を含むここ数年来の笠岡市の全国学力状況調査の結果が示している。教師と児童・生徒がその授業の具体的な目標を共有し、その達成に直結し且つ学習意欲を喚起する活動や交流の場が設定され、そのための最適な指示・発問が児童・生徒に与えられ、最後には目標はどの程度達成されたのかを個々の児童・生徒が自覚するといった過程が授業の本質である。ICTの活用は、ほとんどの教科の授業においてその過程の一部に用いられる手段の一つに過ぎない。授業計画・実践の能力の弱い教員に対するICT活用の汲々とした推奨は、本人が自ら克服すべき弱点や課題から目を背ける理由を与える危険さえ孕む。

この点について、当職はここ数年にわたり本「総合評価」の中で改善を求めてきた。しかしながら、その兆しが認められないことは至極残念である。生涯学習の推進、自然や文化財の保護活用、生涯スポーツの推進のための、長年にわたる笠岡市独自の挑戦的な取り組みがあるのなら、学校教育先進自治体を目指す独自の取り組みがあっても然るべきであろう。例えば、学校と研究機関との協働による笠岡型教授メソッドや教材の開発、各教科等のリーダー的教員を対象にした大学連携のリカレント研修制度の設立等も考えられる。言うまでもないが、これらの取り組みは、各々の学校やブロック単位に委ねられるのではなく、笠岡市教育委員会の案件とすべきである。

「基本施策2：共生の心の育成」に関して、不登校を含む、様々な課題を背負った子どもたちやその家庭への支援の一環として、支援員の増員、総合教育相談支援センター活用の呼びか

け、さらに学校と SC や SSW との連携推進等の取組のおかげで、見えにくかった実態が浮き彫りになってきた。また、飛島の「フリースクール育海」での子どもの受け入れの実現、オンラインでの別室指導やその他のフリースクールとの連携など、積極的な取組が見られる。不登校や通室の児童生徒の数の減少傾向は認められず、一部の学校で生徒に問題行動は見られるものの、それらの課題に粘り強く取り組もうとする教育委員会や各学校の姿勢を評価したい。コロナ感染が落ち着きを見せ、人と人との交流が可能になったことで、学校給食センターによる食育等に関する指導が再開されたことは喜ばしい。学校体育、スポーツ活動の充実に関しても中学校での総合体育大会や新人大会は再開できたが、コロナ禍によって運動に親しむ資質や能力の伸長にダメージを受けたと思われるこの年代の子どもたちへの特別な手立ての必要性を検討してもらいたい。

「基本施策 3：郷土愛の育成」「基本施策 4：小中一貫教育及び学校規模適正化の実施」「基本施策 5：学校施設等の整備」のいずれの施策に関しても、それぞれに実質的な成果を上げていることは評価できる。

## 2 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》について

「基本施策 6：市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供」について、様々な講座や事業が感染症対策を施しながらも再開され、そのほとんどにおいて実施件数、受講者数ともに、前年度に比べて大きく増加した。それぞれの講座や事業の内容を見ると、コロナ禍を経験したことによって得られた知見を生かした、環境整備を含む公共サービスの提供の工夫が見られる。また、市民に幅広く、各施設を利用してもらおうための新たな企画の数々が実施された。

「基本施策 7：生涯学習によるまちづくり」「基本施策 8：家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援」「基本施策 9：社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援」に関わる様々な事業のほぼすべてにおいて、利用者数の回復が見られた。行政と市民が教育行政の「基本理念」に向かって行動しようとする気運が高まっていることを感じ取ることができる。

## 3 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》について

「基本施策 10：文化財の保護・活用」「基本施策 11：竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実」「基本施策 12：芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成」「基本施策 13：カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営」では、笠岡市固有の自然・文化・芸術の財産を尊重し、際立たせようとする事業がコロナ禍のダメージを受けても力強く復活してきたことを評価したい。また、単に参加・入場者数の回復を待つだけでなく、例えば、白石踊りのユネスコ無形文化財登録、及びフェスティバルへの参加、「小野竹喬広め隊」の活動支援、カブトガニ博物館での「歯!!!」展の開催等の価値ある創意工夫が見られる。

## 4 《いつでも、どこでも、誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》について

「基本施策 14：生涯スポーツの推進」について、地域スポーツ活動の活性化に重要な役割を担うスポーツ推進委員の地域への派遣回数が大変増加したことは喜ばしい。市民のスポーツに

親しもうとする意欲を高めるための広報活動に力を入れていることも評価できる。新たなスポーツ推進委員の開拓は難しい課題であるが、粘り強い取組をお願いしたい。

「基本施策 15：競技スポーツの推進」においては、マラソン大会や各種スポーツ教室等の事業を確実に実施できた。競技人口やスポーツ少年団員数が減少している中においても、全国から参加者を集めるイベントの開催、全国レベルの大会を目指す選手や指導者の育成、トップアスリートの招致、優秀な成績を収めた個人、団体の激励といった競技人口の拡大と競技力向上の努力を諦めない志を持った姿勢が評価できる。

「基本施策 16：スポーツ施設の整備・充実と活用」については、効率的運営のための施設整備の工夫がすすめられている。

### 三 谷 信 恵 委 員

「令和4年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づいた担当部署からの説明を受けて、コロナの感染状況が落ち着き、活動機会の増加により、教育現場や生涯学習の分野でも活気が戻ってきたことや、リモート対応にも臨機応変に対処できる体制が確立されるなど様々な努力をされたことから、総合的に見て目標は「概ね達成された」と判断いたします。

以下報告書に関して感じたことを述べさせていただきます。

#### 1 教育委員会の運営状況、教育委員会が管理・執行する事務

令和4年度の総合教育会議は生徒指導案件が議題とされ、12月と3月に協議されています。緊急に話し合いが必要な場合もありますが、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題や、あるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることが総合教育会議の目的で協議・調整する場です。会議の成果物を早期に実行する為には年度の早い時期での開催が望ましい。

#### 2 ≪「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進≫

子どもたちが、落ち着いて学習に取り組むための事業に、ICT環境や教材に注力されていることが理解できました。タブレットを使用することにより、学習に前向きに取り組むことや、個々に合った教材を使用し学びを充実させることなど、良い面も数多くあります。ICT教育の進化にとどまらず、教員のさらなる授業力向上を目指した研修等にも力を入れていただきたいと思えます。

給食センターの取組が、安全・安心な給食を提供することだけでなく、子どもの健康に重きを置いて、きめ細やかな指導を工夫されており感心しました。アンケートで、朝食を食べない子どもの割合が気になりました。子どもたちの一日が元気に始まるよう家庭と連携してできることを工夫していただきたい。

小中一貫教育の推進事業では、ブロック内での連携は良好だと回答いただきました。本格実施に向け、教員も積極的にアイデアを出し合えるような、風通しの良い職場環境を整えていただきたい。

#### 3 ≪市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進≫

コロナの影響が小さくなったことから、様々な事業が再開され、待ち望まれていた方々も喜ばれたことでしょう。マイナスの状態からコロナ前に戻っただけとならぬよう、新たなアイデアを出し合い市民に楽しんでいただくと同時に、時代に合わない事業の見直しも考えていただきたい。

#### 4 ≪幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成≫

ユネスコ無形文化遺産「風流踊」（白石踊）、国登録記念物「清水氏庭園」の文化財指定の報

道は、笠岡市民にとって明るいニュースでとても嬉しく思いました。指定に至るまでには、事前の調査・申請において色々ご苦勞されたことと拝察します。引き続き保存・継承を図るとともに、市民が楽しめるイベントを企画して笠岡の宝を次の世代に受け継ぐようにしてください。

5 《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》

市民が楽しみにしていた大会がようやく開催することが出来て、スポーツのできる喜びを再確認しました。今後もより一層参加意欲の湧くイベントや教室を企画していただき、高評価となるようご尽力願います。

## 小 寺 稔 委 員

「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」を基に担当部署から説明を受け、事務管理及び各事業の執行状況が適正に点検・評価されていたことを確認した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も見受けられたが、様々な創意工夫を凝らしながら市民のニーズに応える努力をされており、総合的に見て、目標は「概ね達成された」と判断した。

以下、教育経験者の一人として、感じたことや私見を述べたい。

### 1 教育委員会が管理・執行する事務について

毎月多くの会議を通して協議や情報共有を重ね、学校園や所管の施設・運営状況等を把握しながら、課題解決に向けて取り組んでいる。今後は、複雑化、困難化傾向にある学校の課題や各部署の今日的課題について、より一層学校現場や市民の声を反映させながら教育行政の充実に努めていただきたい。

### 2 «「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進»について

確かな学力を身に付けさせるために、ICT機器やAI教材の整備、非常勤講師や支援員の配置等を行い、教育環境の充実に図っていることは評価できる。一方で、年度途中に休暇に入る教員が増えてきており、毎年代員の配置ができていない学校がある。教員が不足している状況は学校運営に困難を来すと共に、教員の負担がさらに増していることが危惧される。子どもたちのためにも一刻も早い人員の配置をお願いしたい。県や国へ強く要望していくと共に、市も教員確保に向けた対策を最優先課題として考えていただきたい。また、教員の指導力向上を図るために、教育委員会も各学校も様々な方法で熱心に研修を行っているが、依然として教員の指導力の低下が懸念されている。一つの案として、校内研修は全国学力テストの結果分析と小中一貫教育を生かして、可能な限り中学校ブロック内の小小、小中が同じ研究テーマを設定して、合同の研修や授業公開等を教育委員会が主導して実施することを提案したい。ブロック内の教員が同じ視点で焦点化した研修内容に組織的に取り組むことにより教員全体の指導力向上を図ることができ、成果・改善も明確になりやすいのではないかと考える。研修に限らず、新たな視点で現在進めている小中一貫教育の良さを生かした取組を積極的に導入していく必要があると考える。

小中学校教職員の時間外勤務時間の平均が、月上限の45時間以下になってきており、ICT支援員や校務支援員の配置、各校における行事・会議等の精選、時間を意識しながら効率的に仕事をしている教員が増えてきていること等が評価できる。ただ、45時間を超えないように家に持ち帰って日々教材研究や授業準備等を行っている教員がいるのが現状であり、引き続き負担軽減に向けた取組を継続していただきたい。

深刻化している不登校問題については、相談や支援を受けることなく欠席している子どもが社会から孤立しないように、引き続き学校がSCやSSW、総合教育相談支援センターと連携しながら児童生徒及び保護者に寄り添うことができるように指導・支援をお願いしたい。また、子どものニーズに合わせた居場所の確保（別室登校等）にも力を注いでいただきたい。

### 3 《市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進》について

市制施行70周年記念事業は、DVD制作、企画展、施設連携事業等、子どもから高齢者までが楽しむことができた事業であり、市民の郷土愛や愛着を深める一助となったことは評価できる。引き続き、市民のニーズを把握しながら、生涯学習課が実施する講座や事業、図書館や公民館活動の充実を図って、学習・活動意欲を高めてほしい。

### 4 《幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成》について

「笠岡へもっと愛着を持ち隊」、「日本遺産『石の島』」、高校生による「小野竹喬広め隊」、「カブトガニの保護活動」の取組は、いずれも様々な工夫をして活動に取り組んだことで、郷土への愛着を深めることができ、評価できる。笠岡市で最も認知度が高いのは、天然記念物「カブトガニ」・「カブトガニ博物館」であったと思っていたが、今後は、ユネスコ文化遺産「白石踊」と日本遺産「石の島」の3本柱で情報発信をしていき、笠岡市の知名度を高めていくことができるのではないかと思う。また、親子で参加する事業が増えてきているのはよい傾向である。子どもにターゲットを充てた事業は、子どもが文化財や芸術に触れる体験を通して興味・関心をもつ子どもの育成に寄与すると共に、大人の参加者の増加にもつながることが予想される。

### 5 《誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興》について

子どもから高齢者まで誰もが参加できるように、様々なスポーツ教室や大会を開催すると共に、情報発信も積極的に行っていることは評価できる。トップアスリートの招致や元プロ野球選手のドリームチームによる野球教室は、子どもたちに夢や希望を与えるもので、継続していただきたい。今後は、障がいのある方がより気軽に参加することができるように運営方法やルール等を配慮したり、障がい者スポーツの事業にも取り組んだりしていただきたい。

## IV 資料

## 令和4年度 教育関係決算総括表

## 歳入

(単位：千円)

款	R4年度 決算額A	R3年度 決算額A	比較	
			額(A-B)	率(%)
13 分担金及び負担金	1,116	3,243	△ 2,127	△ 65.6
14 使用料及び手数料	42,635	30,644	11,991	39.1
15 国庫支出金	138,327	124,257	14,070	11.3
16 県支出金	48,915	58,435	△ 9,520	△ 16.3
17 財産収入	98	90	8	8.9
18 寄附金	291,471	14,276	277,195	1,941.7
19 繰入金	118,453	75,079	43,374	57.8
21 諸収入	47,250	37,038	10,212	27.6
22 市債	197,700	146,800	50,900	34.7
一般財源	1,602,919	1,962,365	△ 359,446	△ 18.3
合計	2,488,884	2,452,227	36,657	1.5

## 歳出

(単位：千円)

款・項	R4年度 決算額A	R3年度 決算額A	比較	
			額(A-B)	率(%)
01 教育費・教育総務費	354,360	309,903	44,457	14.3
02 教育費・小学校費	375,414	463,086	△ 87,672	△ 18.9
03 教育費・中学校費	385,880	271,417	114,463	42.2
04 教育費・幼稚園費	254,702	278,607	△ 23,905	△ 8.6
05 教育費・社会教育費	598,575	536,395	62,180	11.6
06 教育費・保健体育費	519,953	592,819	△ 72,866	△ 12.3
教育関係合計	2,488,884	2,452,227	36,657	1.5

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	対前年比率		
主な経費	児童報償費	決算(千円)	31	117	173	164	174	170	97.7	卒業記念
		1人当たり(円)	82	339	459	470	466	493	105.8	
	消耗品費	決算(千円)	24,609	30,157	31,047	47,678	30,559	26,993	88.3	
		1人当たり(円)	11,346	14,279	14,679	23,122	15,151	14,008	92.5	
	燃料費	決算(千円)	2,763	1,679	944	873	1,024	856	83.6	
		1人当たり(円)	1,274	795	446	423	508	444	87.4	
	光熱水費	決算(千円)	31,483	32,374	31,532	30,927	36,123	44,359	122.8	
		1人当たり(円)	14,515	15,329	14,909	14,999	17,909	23,020	128.5	
	修繕料	決算(千円)	10,654	13,392	10,751	12,062	9,253	14,637	158.2	
		1人当たり(円)	4,912	6,341	5,083	5,850	4,588	7,596	165.6	
	プール維持 管理費	決算(千円)	6,421	5,153	6,093	64	1,437	4,879	339.5	
		1人当たり(円)	2,960	2,440	2,881	31	712	2,532	355.6	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,700	2,725	2,750	2,750	2,543	92.5	
		1人当たり(円)	1,245	1,278	1,288	1,334	1,363	1,320	96.9	
	図書購入費	決算(千円)	4,893	5,471	5,577	5,637	5,967	4,048	67.8	
		1人当たり(円)	2,256	2,590	2,637	2,734	2,958	2,101	71.0	
	教材備品 購入費	決算(千円)	12,659	16,509	14,987	22,158	9,345	8,358	89.4	校務用パソコン 印刷機等
		1人当たり(円)	5,836	7,817	7,086	10,746	4,633	4,337	93.6	
	豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,834	1,759	1,697	1,627	1,344	978	72.8	
		1人当たり(円)	846	833	802	789	666	508	76.3	
施設維持 改良工事費	決算(千円)	17,438	17,616	12,531	12,860	8,780	13,595	154.8		
	1人当たり(円)	8,040	8,341	5,925	6,237	4,353	7,055	162.1		
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	—	23,892	31,856	31,856	31,856	100.0	リース料	
	1人当たり(円)	—	—	—	15,449	15,794	16,531	104.7		
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	—	62,877	21,480	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	10,649	0	0.0		
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	—	105,820	0	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	0	0	0.0		
学校建設費	決算(千円)	150,901	180,348	192,885	12,612	73,260	2,503	3.4	職員トイレ改修工事(大井小, 金浦小, 城見小)	
	1人当たり(円)	69,572	85,392	91,199	6,116	36,321	1,299	3.6		
小学校費	合計(千円)	441,530	508,266	552,323	587,407	463,086	375,413	81.1		
	1人当たり(円)	203,564	240,656	261,146	284,872	229,591	194,817	84.9		

児童数(人)	2,169	2,112	2,115	2,062	2,017	1,927	95.5
6年生(人)	379	345	377	349	373	345	92.5

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	対前年比率		
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	109	180	234	236	216	305	141.2	卒業記念
		1人当たり(円)	310	573	701	711	732	933	127.5	
	消耗品費	決算(千円)	13,265	13,330	15,313	13,268	22,453	14,407	64.2	
		1人当たり(円)	13,318	13,644	15,934	13,952	24,485	15,149	61.9	
	燃料費	決算(千円)	708	617	555	475	415	354	85.3	
		1人当たり(円)	711	632	578	499	453	372	82.1	
	光熱水費	決算(千円)	19,528	19,424	19,404	16,192	19,124	21,332	111.6	
		1人当たり(円)	19,606	19,881	20,191	17,026	20,855	22,431	107.6	
	修繕料	決算(千円)	6,706	7,234	5,490	5,279	5,351	5,260	98.3	
		1人当たり(円)	6,733	7,404	5,713	5,551	5,835	5,531	94.8	
	プール維持 管理費	決算(千円)	1,041	1,143	1,132	0	317	1,070	337.5	
		1人当たり(円)	1,045	1,170	1,178	0	346	1,125	325.1	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,715	1,600	1,615	1,630	1,630	1,506	92.4	
		1人当たり(円)	1,722	1,638	1,681	1,714	1,778	1,584	89.1	
	図書購入費	決算(千円)	3,197	3,322	3,287	3,149	2,981	2,592	87.0	
		1人当たり(円)	3,210	3,400	3,420	3,311	3,251	2,726	83.9	
教材備品 購入費	決算(千円)	8,725	7,998	9,813	10,215	4,922	5,131	104.3	校務パソコン 体育館音響設備等	
	1人当たり(円)	8,760	8,186	10,211	10,741	5,368	5,395	100.5		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	885	873	850	795	647	452	69.9		
	1人当たり(円)	889	894	884	836	706	475	67.3		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	9,293	9,883	15,641	8,190	5,399	5,399	100.0		
	1人当たり(円)	9,330	10,116	16,276	8,612	5,888	5,677	96.4		
GIGA 賃借料	決算(千円)	—	—	9,631	12,842	12,842	12,842	100.0	リース料	
	1人当たり(円)	—	—	—	13,504	14,004	13,504	96.4		
GIGA 備品購入費	決算(千円)	—	—	—	29,172	0	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	0	0	0.0		
GIGA 委託料	決算(千円)	—	—	—	43,560	0	0	0.0		
	1人当たり(円)	—	—	—	—	0	0	0.0		
学校建設費	決算(千円)	55,792	20,336	0	6,952	16,044	131,072	817.0	笠岡東中学校屋内運動場 大規模改造工事 各校トイレ改修工事等	
	1人当たり(円)	56,016	20,815	0	7,310	17,496	137,825	787.8		
中学校費	合計(千円)	255,727	225,485	259,657	328,881	271,417	271,417	100.0		
	1人当たり(円)	256,754	230,793	270,195	345,826	295,984	285,402	96.4		

生徒数(人)	996	977	961	951	917	951	96.4
3年生(人)	352	314	334	332	295	327	88.9

※ 生徒数は5/1現在の人数。

◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

幼稚園配当予算

科 目		H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	215	191	284	225	132	128	90	70.3		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,773	1,787	1,908	1,968	1,730	1,436	744	51.8	教師用含む
		1人当たり(円)	8,324	8,935	10,314	12,615	15,446	15,277	21,882	143.2	
	燃料費	決算(千円)	361	361	180	141	137	95	35	36.8	
	食糧費	決算(千円)	9	9	10	10	10	7	3	42.9	
	印刷製本費	決算(千円)	37	47	48	50	33	24	0	0.0	
		1人当たり(円)	174	235	259	321	295	255	0	0.0	
	修繕料	決算(千円)	92	63	118	42	61	50	3	6.0	
小計	決算(千円)	2,272	2,267	2,264	2,211	1,971	1,612	785	48.7		
役務費	通信運搬費	決算(千円)	28	23	23	21	13	15	5	33.3	
		1人当たり(円)	131	115	124	135	116	160	147	91.9	
	手数料	決算(千円)	144	148	136	147	120	98	60	61.2	
小計	決算(千円)	172	171	159	168	133	113	65	57.5		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	920	1,017	1,088	1,060	456	209	98	46.9		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	255	233	218	199	200	115	28	24.4		
	1人当たり(円)	1,197	1,165	1,178	1,276	1,786	1,223	824	67.4		
計	予算(千円)	3,834	3,879	4,013	3,863	2,892	2,177	1,066	49.0		
園児数(人)		213	200	185	156	112	94	34	36.2		

こども育成課関係

通信運搬費	決算(千円)	661	593	602	587	526	404	306	58.2	
光熱水費	決算(千円)	3,659	4,372	4,995	4,676	4,399	5,385	4,244	96.5	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,100	1,110	1,120	996	452	40.4	
修繕料	決算(千円)	1,697	1,944	1,769	1,704	438	292	209	47.7	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	2,689	2,581	1,670	6,803	1,296	1,210	0	0.0	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	1,568	2,897	2,722	2,525	3,057	1,013	66	121.1	
園建設費	決算(千円)	10,436	24,295	8,583	0	0	0	0	—	空調設備実施設計・ 工事費
計	決算(千円)	21,810	37,782	21,441	17,405	10,836	9,300	5,277	48.7	

※ 園児数は5/1現在の人数。

## 令和4年度の主な事業

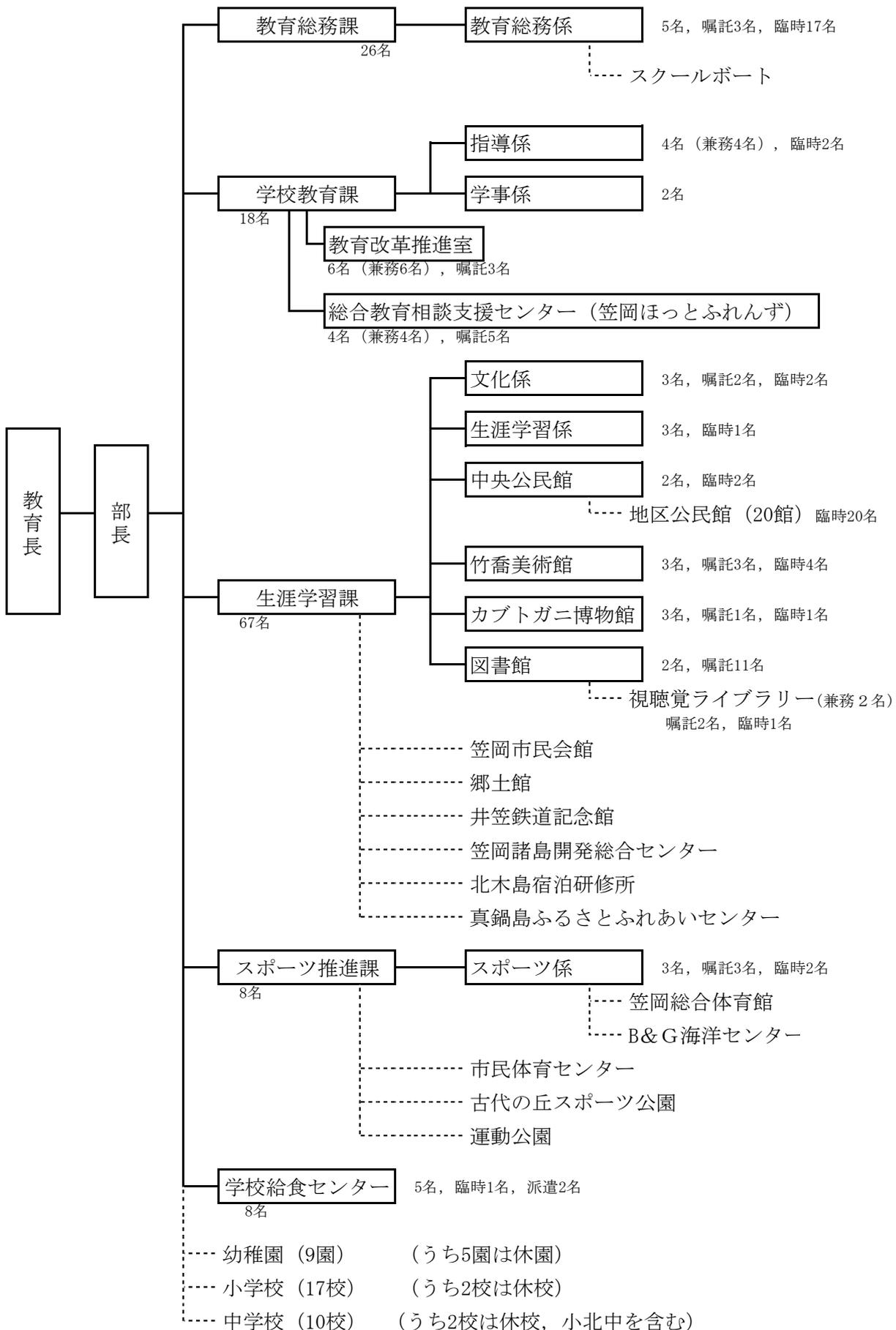
(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教 育 費  2,488,884	スクールボート運営管理事業	17,283	高島，白石島，北木島，飛島，六島の児童・生徒の通学
	学校図書システム導入事業	2,724	紙で管理していた市内小中学校の学校図書について，コンピュータに登録し管理を行った。
	一貫教育推進事業	7,063	説明会の実施 小中一貫教育カリキュラム運用 (国・算(数)・社・理・英・音・体・家・美) 小中一貫教育推進だよりの発行(4回) 笠岡市の小中一貫教育リーフレット増刷 小中一貫教育研修会の開催 講師：木原俊行先生(大阪教育大学大学院 教授)
	学校運営協議会事業	1,019	中学校ブロックでの学校運営協議会の開催により保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援の促進を図った。
	学校事務環境整備事業	9,000	感染症対策の強化及び事務の効率化を図るため，小中学校に通信環境及びパソコン等の整備を行った。
	浮棧橋修繕工事	2,871	スクールボートが停泊する浮棧橋を固定しているチェーンの取替工事を行った。
	学校規模適正化学用品等助成事業	174	令和5年4月に今井小学校が笠岡小学校へ統合されることに伴い，児童に必要な学用品(通学帽・体操服)の購入費を助成した。
	こども教育振興基金積立金	20,800	令和3年度に受領し一般財源として繰越をした寄附金10,000千円と令和4年度に受領した寄附金10,800千円を「笠岡市こども教育振興基金」に積み立てた。
	修学旅行キャンセル料補助事業	57	新型コロナウイルス蔓延による小中学校の修学旅行での参加取りやめ等に係るキャンセル料について，補助を行った。
	教育活動支援事業	41,462	小・中学校へ非常勤支援員45名を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	13,389	不登校対策支援事業(8名配置) 巡回カウンセラー等配置事業(5名配置)教育相談室 特別カウンセラー等配置事業(1名配置)教育相談室 非常勤支援員(1名配置)教育相談室 特別支援教育指導員1名(学校教育課に配置)
	豊かな心を育む総合推進事業	1,458	学校・園の創意工夫により総合的な学習の時間やクラブ活動，学校行事等を講師を迎えて体験学習を行ったり，特色のある教育活動を実施。
	学校連携のための情報ツール整備事業	2,416	教育委員会事務局と学校との電子データ共有化をスムーズにするためにグループウェア「ミライム」を活用
	中学生学力向上に向けた検定チャレンジ	762	漢検・英検・数検の受検料を各1回補助することで，自主的・積極的に学習に取り組む力を身につけ，学習意欲の向上を図る
	小中一貫校整備事業	14,807	金浦中学校ブロックでの一貫教育校整備にあたり，学識経験者，地域代表者，学校関係者，保護者代表者等で組織する検討委員会を設置し，基本方針，方向性やコンセプトを踏まえた小中一貫校に導入する機能，必要諸室などについて協議を重ね，基本計画を策定した。
	図書整備事業	6,738	小学校(4,048)，中学校(2,592)，幼稚園(98)
	教員業務アシスタント配置事業	35,529	教員が抱える事務作業等の負担を軽減するため配置(16名) 笠岡小，中央小，金浦小，城見小，大井小，吉田小，北川小，大島小，神内小，笠岡東中，笠岡西中，金浦中 (兼務)今井小，陶山小，新山小，神島外小，大島中，神島外中，新吉中，小北中
	通学バス運行委託料	7,694	大島小，吉田小及び北木小の児童の通学
	大島小学校整備事業	8,678	教室不足解消を図るため長期継続契約により教室を整備した。 ・第1期分 4,342 ・第2期分 4,336
	営繕関係	36,025	吉田小体育館外部補修工事，中央小道路整備工事，笠岡西中外壁タイル劣化改修工事ほか
笠岡小学校改修事業	2,913	令和5年4月に今井小学校が笠岡小学校へ統合されることに伴い，笠岡小学校のクラス数が1つ増えたため，床・天井，壁塗装，空調設備の設置等の改修を行った。	
教材備品整備事業	8,853	小学校(5,918)，中学校(2,935)	
校務用パソコン更新事業	5,442	校務用パソコンの整備・買替えを行った。	
学校教育活動継続支援事業	21,719	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため，保健衛生用品の購入等を行った。	
小学校における不登校対策実践	4,376	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援	

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	理科観察実験アシスタント配置事業	2,791	笠岡小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小に理科支援員2名を配置
	主体的な学びの基盤づくり事業	722	小・中学校に、その日の授業に関連した補充学習等を非常勤講師や教員OB、地域の識者等を指導者とし、各学校の実態に応じて週1回、各1時間程度実施
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	624	希望小学校校区において、地域の指導者等を講師に、月1回程度、補充的・発展的な学習を実施
	学校ICT環境整備事業	2,154	整備された学習者用端末を自宅学習にも活用するため、持ち帰り用のACアダプタの整備及びフィルタリングの設定を行った。
	外国語指導助手配置事業	46,530	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手（ALT）を小・中学校に8名配置
	ICT支援員配置事業	52,800	小・中学校等に学校ICT支援員10名を配置し、月6回程度技術支援・校務支援・授業支援等の様々なサポートを実施
	JAF心のプロジェクト「夢の教室」	224	「夢先生」を迎え、実体験に基づく話やゲームを通して、フェアプレー精神や協力することの大切さ、夢を持つことの素晴らしさなどを学ぶ。※コロナ禍のためオンラインで実施
	AI教材整備事業	6,265	整備された学習者用端末を効果的に活用できるAI教材を導入した。併せて小・中学校各2校において学力調査を実施し有効的な活用と効果について検証した。
	小・中学校指導者用デジタル教科書整備事業	8,669	全小学校において、令和2年度改訂の国語、算数、理科、社会、外国語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備 全中学校において、令和3年度改訂の国語、数学、理科、社会、英語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	2,281	クラウド上で活用できるドリル教材を整備し、運用。より効果的活用を図るために、ICT支援員による活用促進を図った
	校務支援システム活用事業	8,437	児童生徒の出欠席、成績処理等が全小・中学校で運用となり、情報の共有化および校務の簡素化が図られた
	新学習指導要領に対応したICT環境整備事業	44,698	市内小・中学校において、新学習指導要領に対応した授業を実施するため、学習者用パソコン（3クラスあたりに40台セット）と授業支援システム、無線LAN環境を整備
	落ち着いた学級づくり支援事業	521	小学校5年生および中学校1年生を対象に、総合質問紙「アイチェック」を年2回実施
	特別支援学級における児童生徒用タブレットパソコン整備事業	4,587	特別支援学級にタブレットパソコンや視覚的な支援の充実を図るために大型モニターを導入し、個別学習や支援を行った。
	学校施設整備事業 (トイレ洋式化工事)	4,963	小学校(2,503) 中学校(2,460)
	笠岡東中学校屋内運動場大規模改造事業	128,626	老朽化した屋内運動場の屋根及び外壁の改修、床の張替等の大規模改修を行った。また、屋内運動場玄関にスロープを設置し、既設渡り廊下と連結させた。
	小中一貫教育の推進に向けた推進員配置事業	12,228	英語・理科・社会の教員免許を持つ非常勤講師を4名配置し、乗り入れ授業を行った
	小中一貫教育コーディネーター配置事業	13,377	中学校ブロックに小・中学校を兼務し、コーディネーター役を担う教員を3名配置した。
	部活動指導員配置事業	2,133	教員の勤務負担軽減と部活動の活性化を図るため、市内5中学校へ9名の部活動指導員を配置した。(笠岡東中：バレー部、柔道部 笠岡西中：美術部、技術部、卓球部 金浦中：卓球部 新吉中：吹奏楽部 大島中：卓球部、ソフトテニス部)
	人権教育自立促進事業	534	教育上配慮を必要とする児童・生徒の自立を支援
	教育相談事業	18,836	児童生徒及びその保護者等に対して相談、助言及び援助を実施 教育相談員4名、専任指導員1名配置
	特別支援教育就学奨励事業 研究事業	2,671	小学校学用品等493, 中学校学用品等456, 給食費1,722 登校対策支援員5名配置(中央小・金浦小・大井小)
	要保護及び準要保護児童生徒 援助費補助事業	43,296	小学校学用品等7,979, 中学校学用品等10,966 給食費24,351
	離島留学応援事業	6,086	市内の相談室へ入室している児童生徒を対象に、飛島相談室の開設に向けて準備を行った。また、神島外中学校に「離島留学」よる子どもが通うことのできる体制を整えた。
	施設型給付費	106,801	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園等へ施設型給付費を支給した。
	幼稚園一時預かり保育事業	8,701	笠岡幼、金浦幼、大井幼、尾坂幼で、一時的に教育時間外に保育を実施。

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	生涯学習事業	1,319	生涯学習フェスティバル, 諸学級事業 たくましい笠岡っ子(年3回)参加者数43人 スピーチコンテスト, 「明るい家庭づくり」作文
	奨学金給与事業	1,732	公益財団法人坂本音一育英会(被交付者 高校生8人, 大学生1人) 藤井育英会(被交付者 高校生8人)
	成人式	1,091	延期していた令和3年度成人式を実施, 令和4年度成人式は通常実施 【令和3年度】 開催日 令和4年5月4日(水・祝)参加者数283人 市内参加率 57.9% 【令和4年度】 開催日 令和5年1月8日(日) 参加者数287人 市内参加率 59.6%
	放課後子ども教室	787	市内6箇所において, 地域住民の参画により子どもたちが放課後を 安全・安心に過ごし, 多様な体験活動等を行った
	土曜日教育支援	398	市内9箇所において, 地域住民の参画により子どもたちが土曜日等を 安全・安心に過ごし, 多様な体験活動等を行った
	地域学校協働本部事業	2,002	市内14地区(6中学校区, 15小学校区)において, 地域住民の参画 により学校教育の支援活動を行った
	文化振興事業	861	さつき・新緑展, 菊花展, 文化祭, 芸能祭, 美術展, 児童・生徒美術展(延べ来場者数 7,321人)
	文化賞揚事業	140	全国・中国大会等に出場する選手に賞揚金を贈呈し, 選手を激励する。 (公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団共催事業)
	木山捷平文学選奨	2,393	第18回木山捷平文学選奨 短編小説(全国公募), 随筆・詩・短歌・俳句・川柳
	白石踊後継者育成事業	855	白石踊後継者育成事業の委託(委託先 白石踊会) 定期練習会14回, 鑑賞体験ツアー1回, イベント出演4回
	井笠鉄道記念館管理事業	1,028	井笠鉄道記念館管理・運営 年間入館者数3,679人 管理業務の委託, 機械警備, 車両等整備
	市制施行70周年記念事業	1,372	70周年記念映像制作事業 「わたしたちの笠岡市」DVD制作・配布 企画展「笠岡市70年のあゆみ」写真展及び写真集作成・配布 笠岡今昔風景展 油彩画展示及び作品集刊行 施設連携事業 4館連携クイズ&スタンプラリー
	北木島宿泊研修事業	5,787	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって運営し, 島なら ではの宿泊体験学習を提供。 延べ利用者数670人(市内433人, 市外237人)
	笠岡子どもフェスティバル	128	感染対策を徹底し, 小規模イベントを4回に分けて開催 2~4日目は「たくましい笠岡っ子」との協働事業として実施 参加者数89人
	青少年育成地区活動推進事業	882	各地区において青少年健全育成に取り組む団体に対し補助金を 交付し, 活動を支援(市内各地区青少協11団体)
	公民館運営事業	95,387	最も身近な生涯学習の拠点として, 場所と機会の提供を行った。 各種講座の開催 ・講座数 中央公民館 46講座 地区公民館 320講座 ・受講者数 中央公民館 延べ 8,668人 地区公民館 延べ 62,134人
	公民館活動助成事業	5,762	地区公民館20館 101事業
	公民館施設整備事業	18,816	空調設備改修工事(今井・新山・高島) 築山撤去・門袖解体撤去工事(城見) フェンス改修工事(金浦) 屋外階段等改修工事(大島) 集会室床改修工事(北川) 中央・地区公民館Wi-Fi設置工事(中央・吉田・北川・大島・神島) 間仕切りカーテン取替工事(北川) 案内看板改修工事(大島) 網戸設置工事(笠岡東・北木) 倉庫解体工事(笠岡東)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	市民会館運営事業	94,165	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営及び市民会館を利用した自主講座や文化芸術鑑賞に係る事業を委託 【施設整備関係】 ・市民会館ホール棟屋上防水・外壁改修工事前払金（R5へ繰越） ・市民会館受電設備内遮断器取替工事 ・低濃度PCB汚染廃電気機器等処分委託料
	図書館運営事業	81,152	来館者数78,199人 貸出冊数245,437冊 蔵書数192,427冊（一般書128,825冊，児童書63,602冊） カウンター業務，ブックスタート事業，巡回文庫業務等の実施 紙芝居とおはなしの会 20回，延べ参加人数213人 子ども映画会 12回，延べ参加人数157人 本のリサイクル会（2回）参加人数251人，11団体 配布数3,081冊 講演会「津田白印と甘露育児院」 参加人数38人 その他の行事 21回 参加人数728人
	カプトガニ博物館運営事業	67,948	カプトガニ保護対策事業，大量飼育事業，特別展示，特別陳列 施設改修工事 入館者数61,439人 特別展示「歯!!!」展 特別陳列「俺たちの標本作り」展 飼育棟内部改修工事，博物館排煙窓修繕工事など
	郷土館運営事業	485	年間入館者数419人 出張展示「笠岡市70年のあゆみ」 入場者数533人
	竹喬美術館運営事業	60,048	竹喬美術館展覧会事業 来館者数12,777人 特別陳列「大正の文人画ネットワーク-加野コレクションを中心に-」 特別陳列「開館40周年記念 栖鳳と京都の日本画」 特別展「開館40周年記念 生誕150年 山元春挙」 特別陳列「開館40周年記念 移ろふ自然 小野竹喬」 特別展「開館40周年記念 洋画の玉手箱 谷コレクション」 特別陳列「開館40周年記念 歌を楽しむ 清水比庵」
	竹喬美術館施設整備事業	2,152	竹喬美術館空調熱源機器更新工事 実施設計を委託（更新工事は令和5年度へ繰越）
	市制施行70周年記念事業 （竹喬美術館）	627	竹喬作品モザイクアート製作活用事業 竹喬美術館クリアファイル（復刻）製作
	真鍋島ふるさとふれあいセンター 運営事業	1,501	交流学习・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター運営 事業	2,886	交流学习・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター施設 整備事業	1,936	研修室空調設備改修工事
	市制施行70周年記念事業	689	宝くじスポーツフェア・ドリームベースボール事業
	スポーツライフ推進事業	1,173	スポーツ教室，ニュースポーツ大会，スポーツ推進委員派遣等
	スポーツ振興事業	9,119	カプトガニ駅伝大会，べいふあーむ笠岡マラソン大会開催等
	スポーツ賞揚事業	2,019	世界・全国大会等に出場する選手を激励し賞揚金を贈呈する
	体育施設管理事業	44,492	体育施設管理運営委託料（38,748） 施設予約管理システム運用委託料（1,253） 体育施設管理一般事務経費（1,276） スポーツ施設LED照明機器借上料（3,215）
	体育施設改修事業	17,911	総合体育館・陸上競技場Wi-Fi構築工事（7,678） 体育センターWi-Fi構築工事（4,356） どんぐり球場屋根裏貼り撤去工事（1,210） 総合体育館事務室・会議室用空調更新工事（3,421） 茂平グラウンドトイレ撤去工事（930） 事務費（316）
	海洋センター管理運営事業	9,192	島しょ部のスポーツ施設の管理運営
	総合スポーツ公園体育施設 管理運営事業	51,641	笠岡総合体育館，笠岡陸上競技場，多目的広場の管理運営
	学校給食事業	333,444	小学校16校，中学校9校（小北中含む），幼稚園7園



※幼稚園に係る業務は就学前教育の一元化により、こども部こども育成課が所管しています。